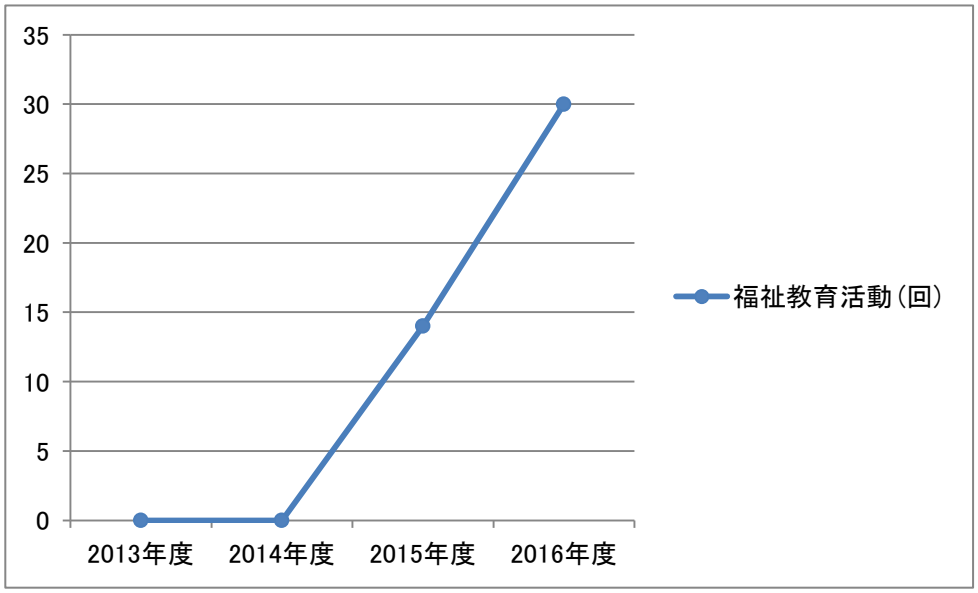
総合計画前期実施計画の目標に対する進捗状況

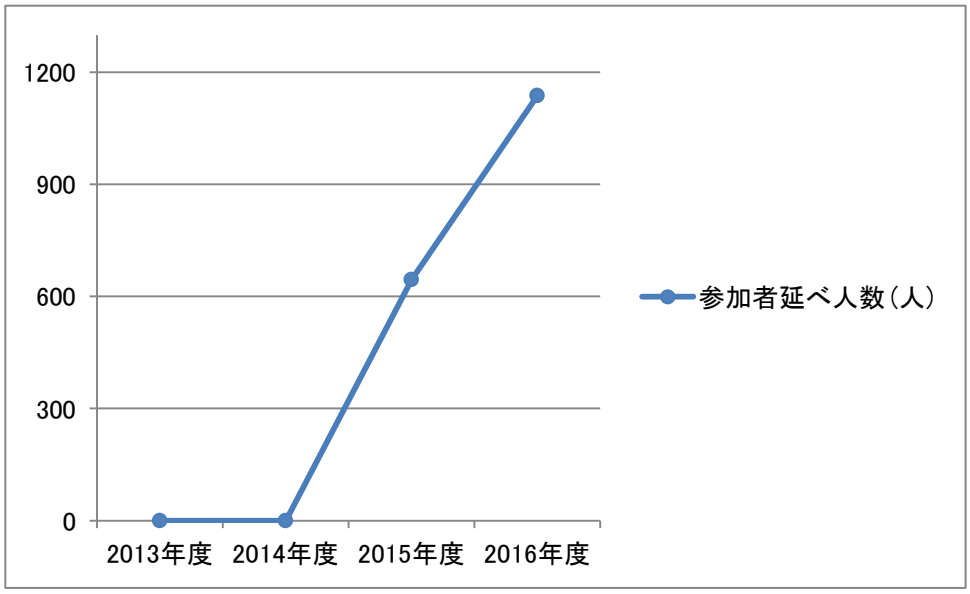
※2022 年度の目標に対する進捗状況

第１節１　「その人らしく生きること」をお互いに支え合う福祉のまち

１　★福祉教育活動が年間 29 回実施され、参加者数が 1300 人になっている。

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
福祉教育活動	実施していない。	実施していない。	14 回	30 回
参加者			645 人	1,138 人



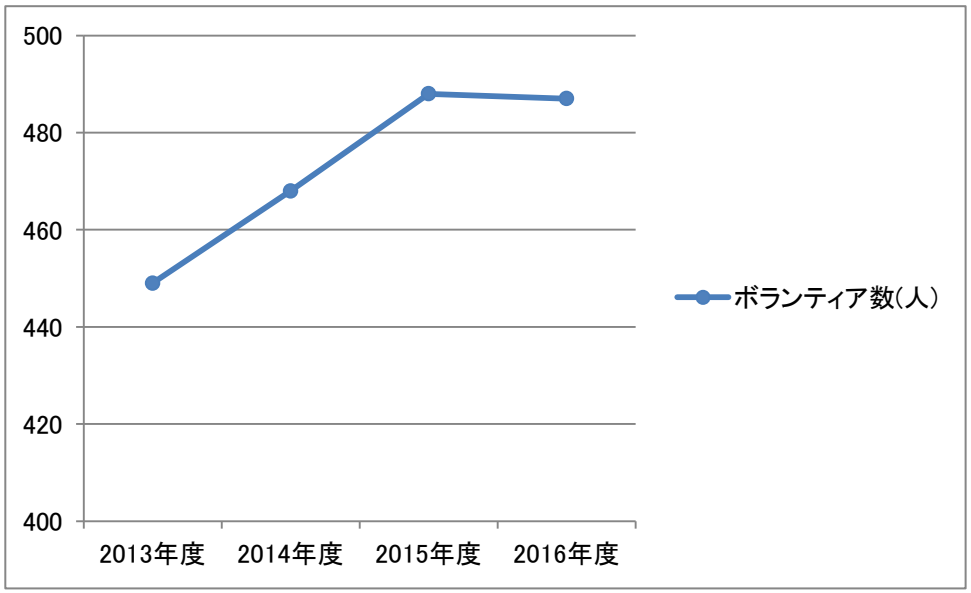


２ ★避難行動要支援者の個別支援プランが、30 パーセント作成されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プラン作成の構築にあたり地域と情報共有を行った。	個別支援プラン作成のために 20 の自治体・サポーターチームで地域支援を行った。

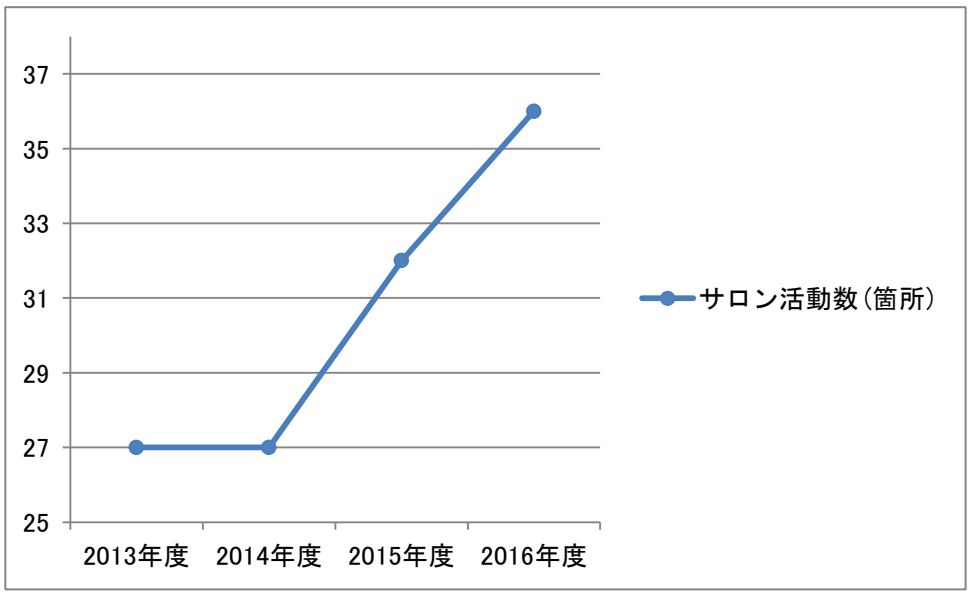
３ 地域における支え合いの担い手となるボランティアの数が 600 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
449 人	468 人	488 人	487 人



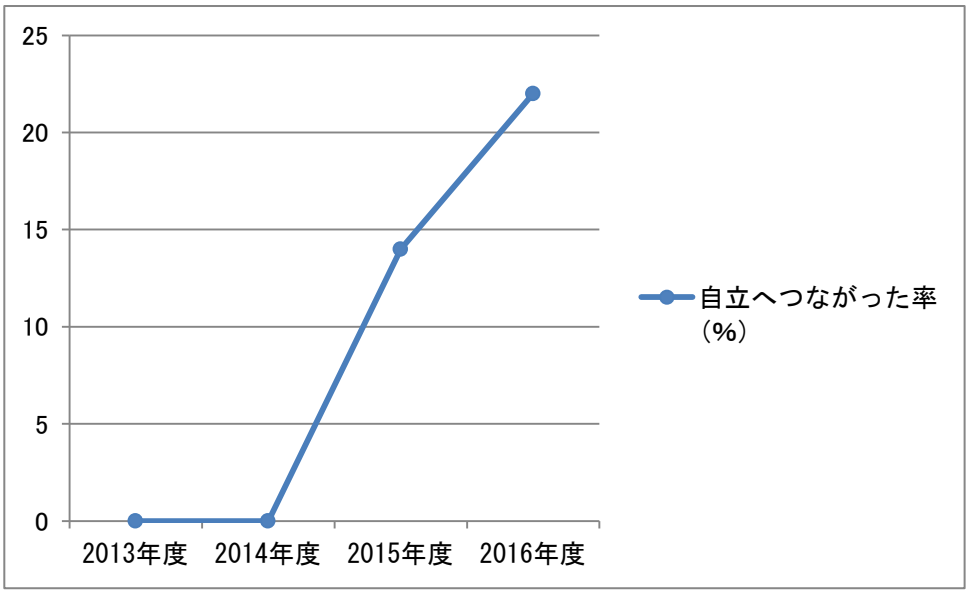
４ 地域における支え合いの土壌となるサロン活動が 38 箇所で行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
27 箇所	27 箇所	32 箇所	36 箇所



５ 自立相談支援により自立につながった生活困窮者が 30 パーセントになっている。

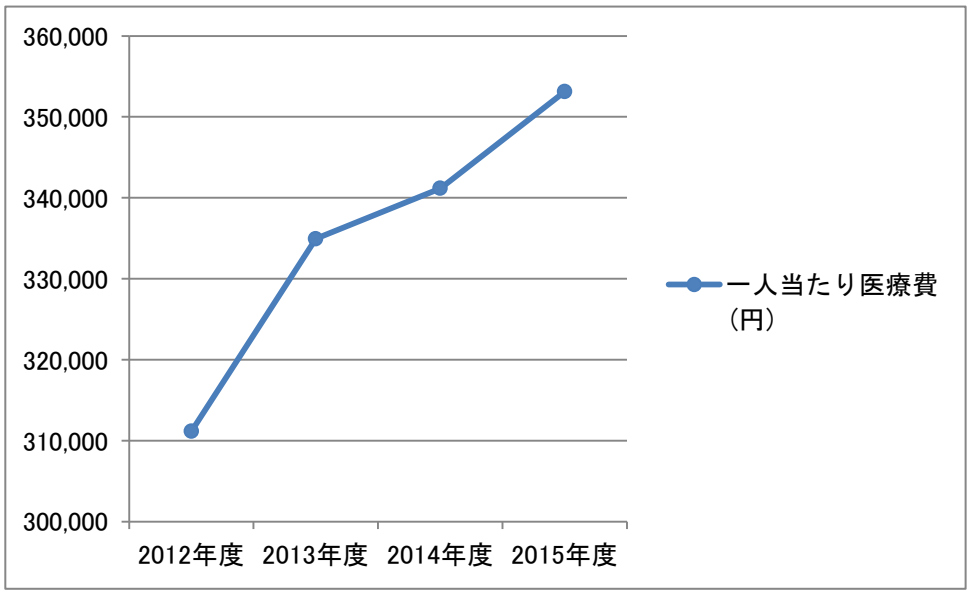
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
実施していない。	実施していない。	14%	22%



第１節２ 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち

１ ★健康増進計画が推進され、国民健康保険被保険者一人当たりの医療費の抑制が図られている。

2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015年度
国民健康保険被保険者 一人当たり医療費 311,144 円	国民健康保険被保険者 一人当たり医療費 334,946 円	国民健康保険被保険者 一人当たり医療費 341,159 円	国民健康被保険者 一人当たり医療費 353,105 円

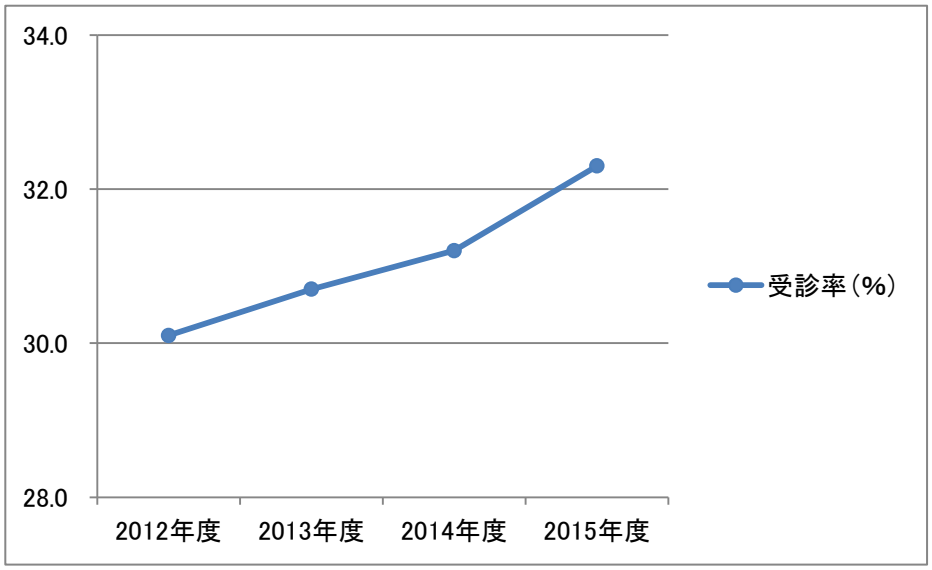


２ ★在宅医療の連携拠点の設置が完了し、機能している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
設置されていない。	設置されていない。	設置されていない。	設置されていない。

３ 国民健康保険の特定健康診査の受診率が 40%以上になっている。

2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015年度
30.1%	30.7%	31.2%	32.3%

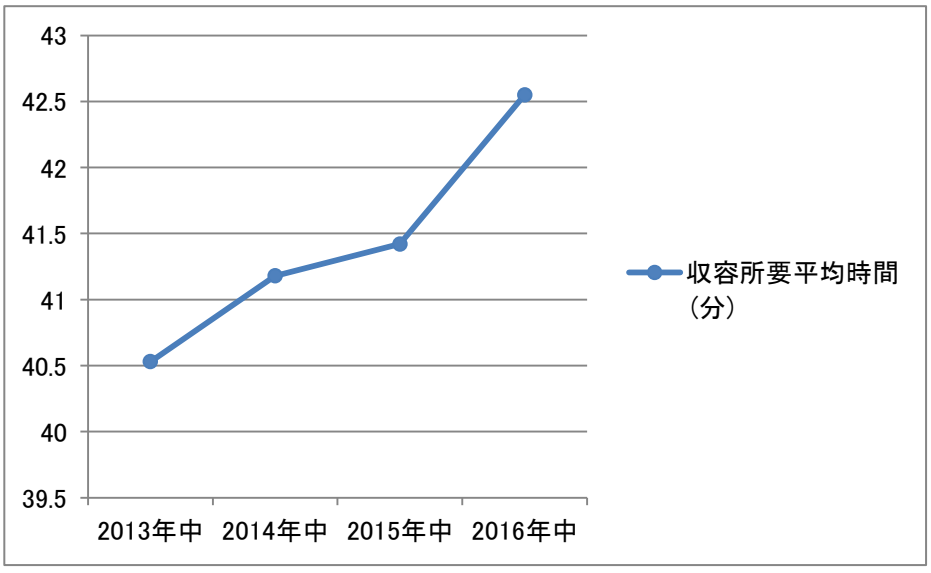


４ 総合的病院が開設されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。	開設されていない。

５ 救急搬送における ICT(情報通信技術)の活用により、救急病院との連携体制が構築され、医療機関収容までの時間が 10 パーセント短縮されている。

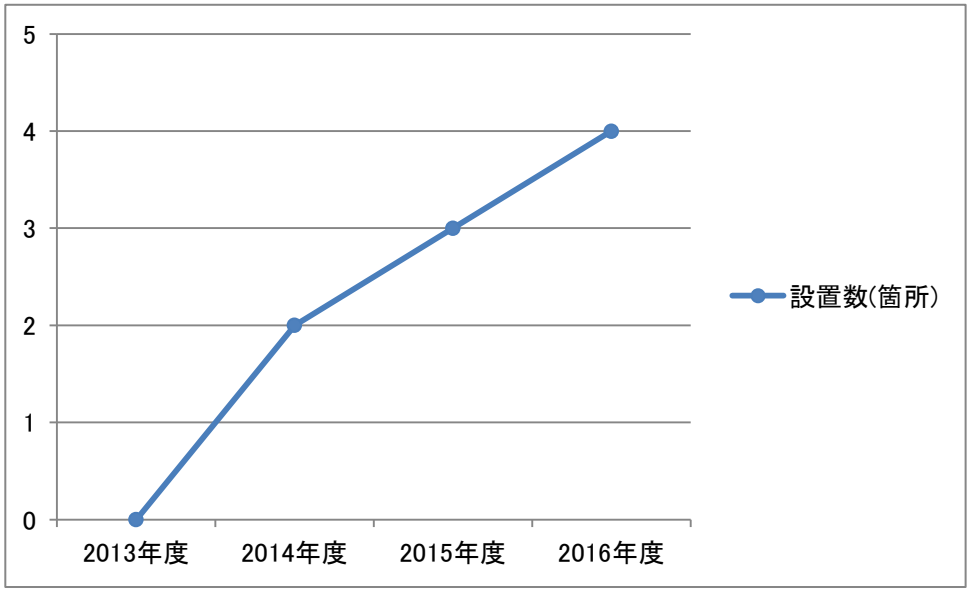
2013 年中	2014 年中	2015 年中	2016年中
収容所要時間 平均 40 分 53 秒	運用されていない。 平均 41 分 18 秒	運用されていない。 平均 41 分 42 秒	運用されていない。 平均 42 分 55 秒



第１節３ 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち

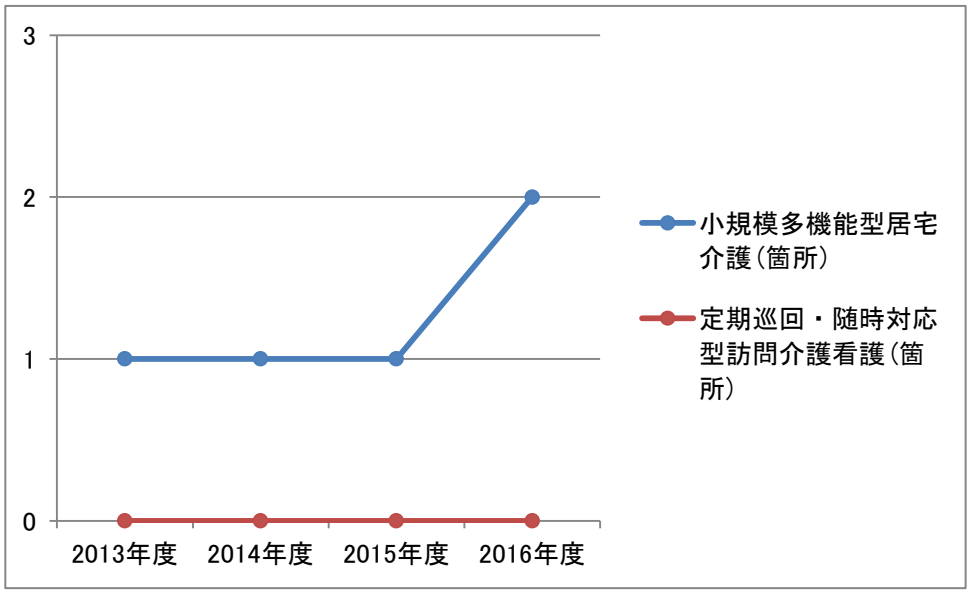
１ ★地域包括支援センターが市内に３箇所設置され、要支援認定者に対して、多様な主体による多様な生活支援サービスが提供されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
要支援認定者に対しては、介護保険による全国一律のサービスを実施している。	２箇所	３箇所	日常生活圏域３箇所 基幹型１箇所



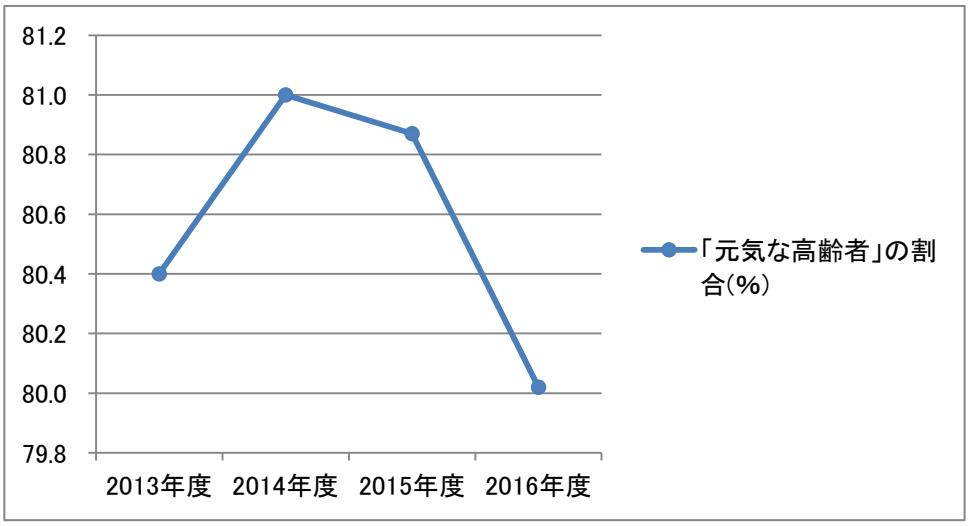
２ ★小規模多機能型居宅介護が３箇所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が１箇所で実施されている。

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
小規模多機能型居宅介護	１箇所	１箇所	１箇所	２箇所
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	０箇所	０箇所	０箇所	０箇所



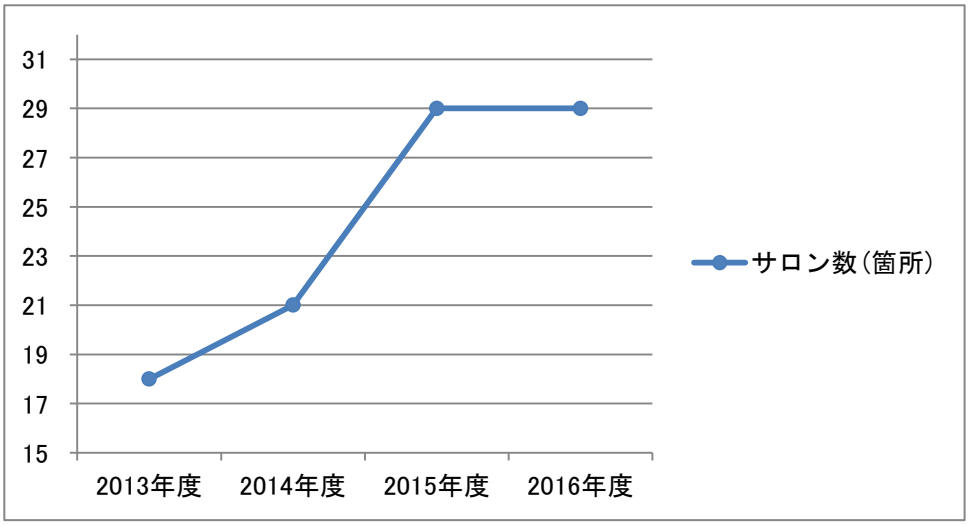
３ ★「元気な高齢者」の割合が 83 パーセント以上になっている。

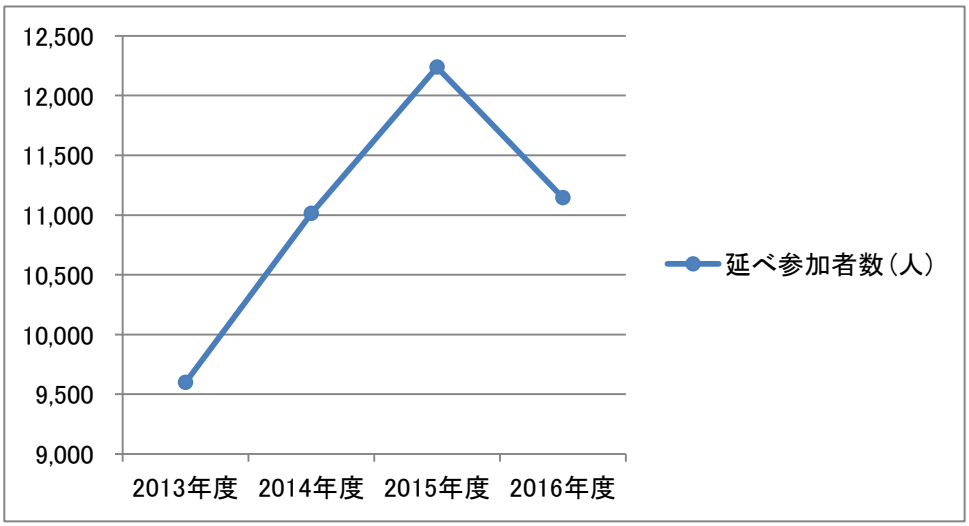
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
80.4%	81%	80.87%	80.02%



４ 市内の高齢者サロンが 25 箇所、延べ参加者数が 13,000 人になっている。

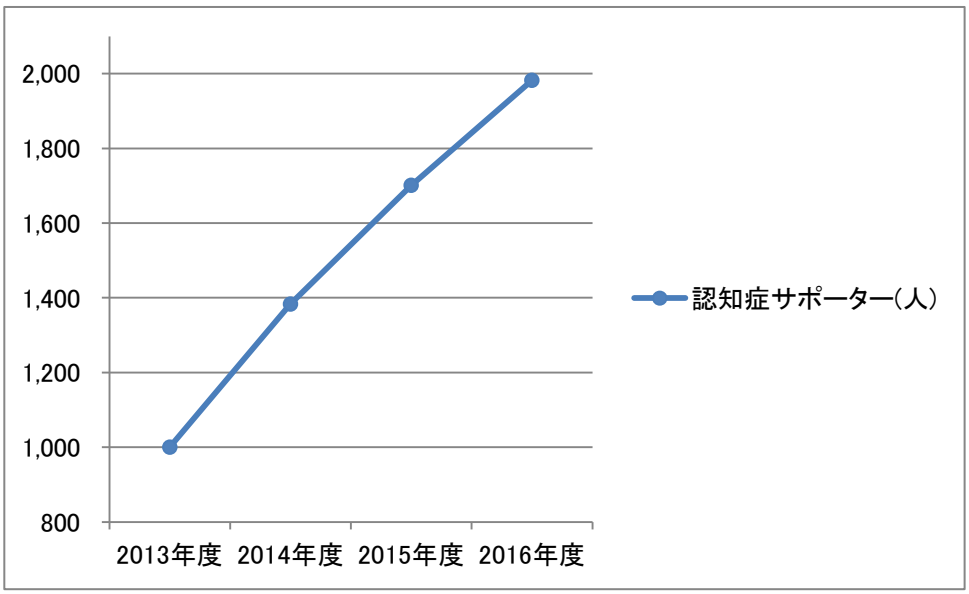
	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
サロン活動数	18 箇所	21 箇所	29 箇所	29 箇所
延べ参加者数	約 9,600 人	11,014 人	12,237 人	11,145 人





５ 認知症サポーターが 3,000 人になっている。

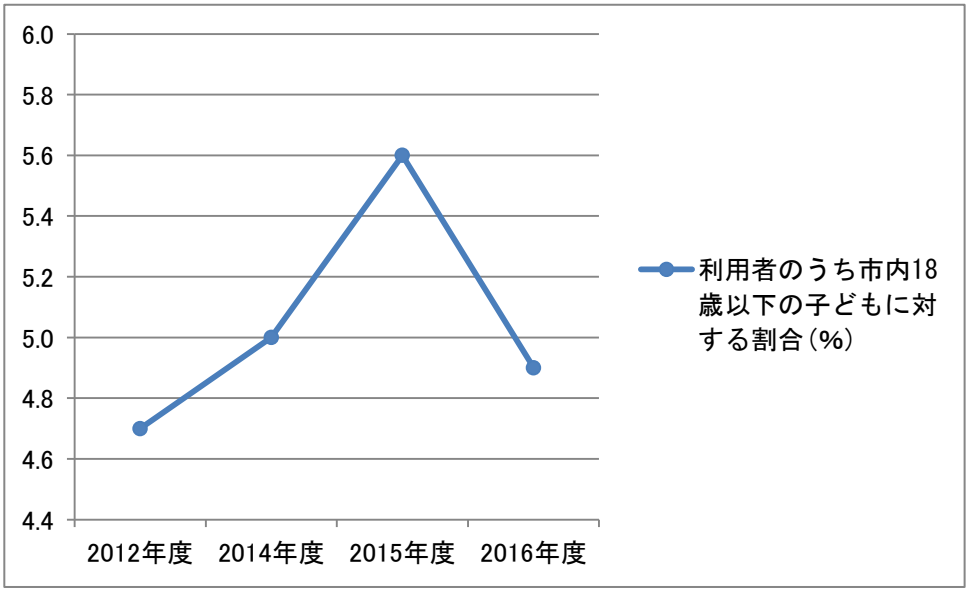
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
1,000 人	1,383 人	1,701 人	1,982 人



第１節４ 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち

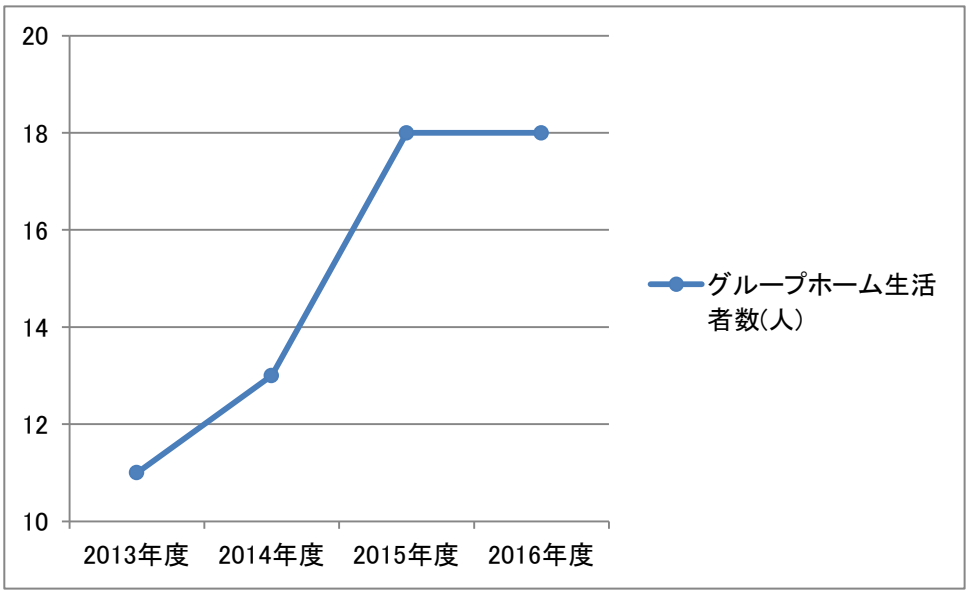
１ ★(仮称)療育・教育の総合センターで実施する相談及び障害児通所支援を利用したことのある子どもの、市内の 18 歳までの子どもに対する割合が 9.5 パーセントになっている。

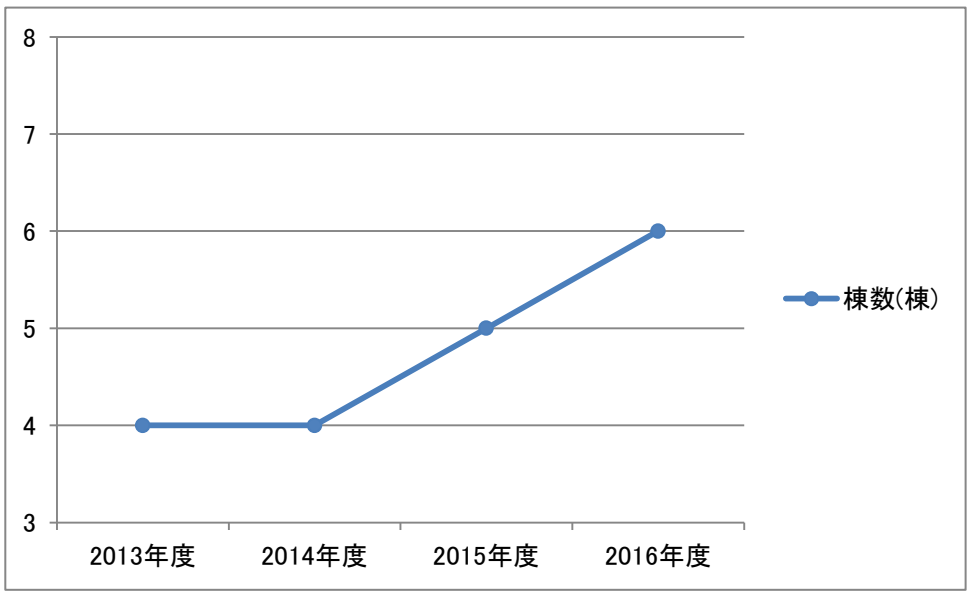
2012年度	2014 年度	2015 年度	2016年度
4.7% (未就学児における療育利用者の割合)	5.0% (未就学児における療育利用者の割合)	5.6% (未就学児における療育利用者の割合)	4.9%



２ ★市内にあるグループホームで生活する人が 35 人(8 棟)になっている。

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
グループホーム生活者(人)	11 人	13 人	18 人	18 人
棟数(棟)	４棟	４棟	５棟	６棟



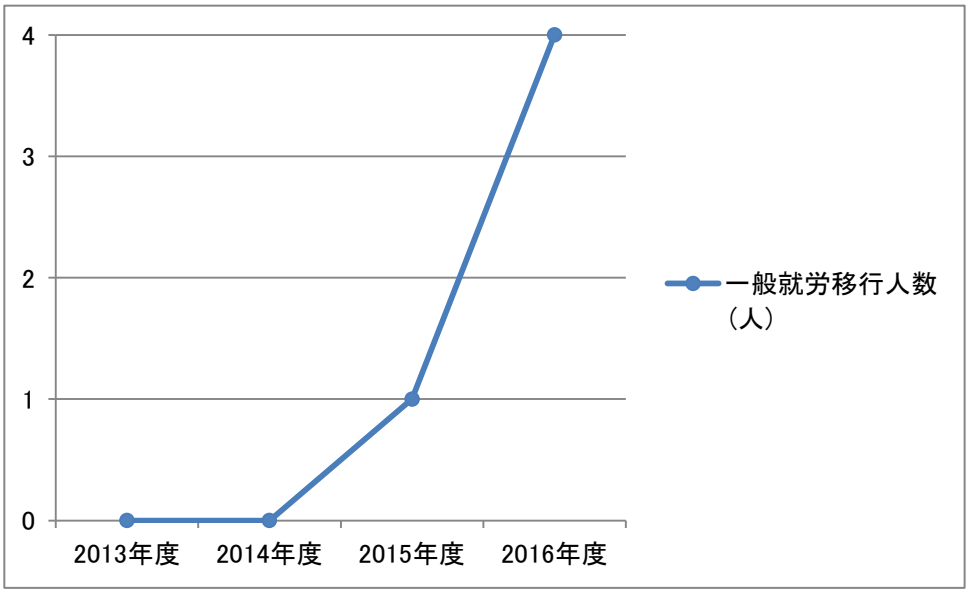


３ (仮称)療育・教育の総合センターにおいて、障がいのある子ども、発達に心配のある子ども(0～18 歳)に対してライフステージに応じた継続的な支援が行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
就学前と就学後で継続した支援になっていない。	就学相談との連携はできているが、継続的な支援にはなっていない。	就学相談との連携はできているが、継続的な支援にはなっていない。	療育教育総合センターとして、継続的な支援を推進している。

４ 福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する人が４人以上になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
０人	０人	１人	４人



５「逗子市障がい者福祉計画策定のためのアンケート調査(障がいのある人以外対象)」において、こころのバリアフリーが推進されていると考える人の割合が 80 パーセント以上になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
60.6%	－	－	－

※「逗子市障がい者福祉計画策定のためのアンケート調査(障がいのある人以外対象)」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施

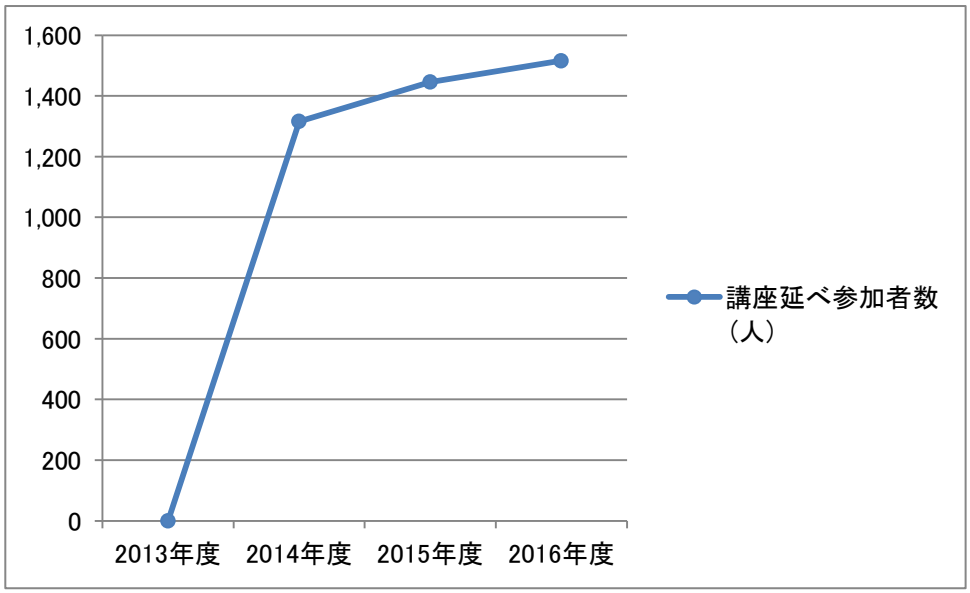
第１節５ 誰もが心豊かに子育てできるまち

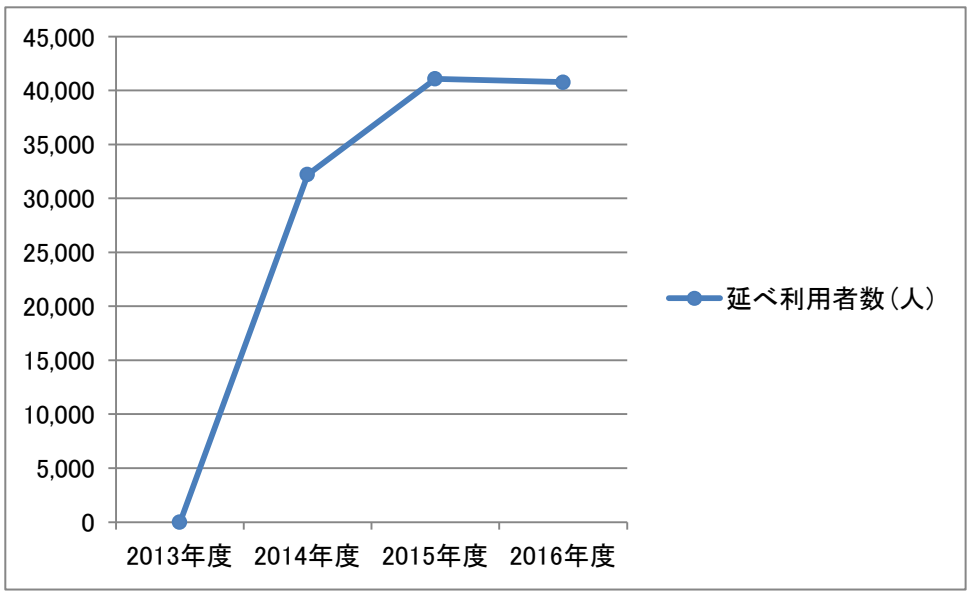
１★子育てに関するポータルサイトのアクセス数が 2018(平成 30)年度の年間アクセス数の 20 パーセント以上になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
子育てに関するポータルサイトがない。	子育てに関するポータルサイトがない。	ポータルサイトを開設し、安定した運営を行っている。 76,250 件 (8～3 月)	132,000 件

２ ★逗子市体験学習施設「スマイル」の主催講座の年間延べ参加者数が 2,000 人、年間延べ利用者数が 60,000 人になっている。

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
講座延べ参加者数	開所されていない。	1,316 人	1,446 人	1,516 人
延べ利用者数		32,214 人	41,086 人	40,777 人





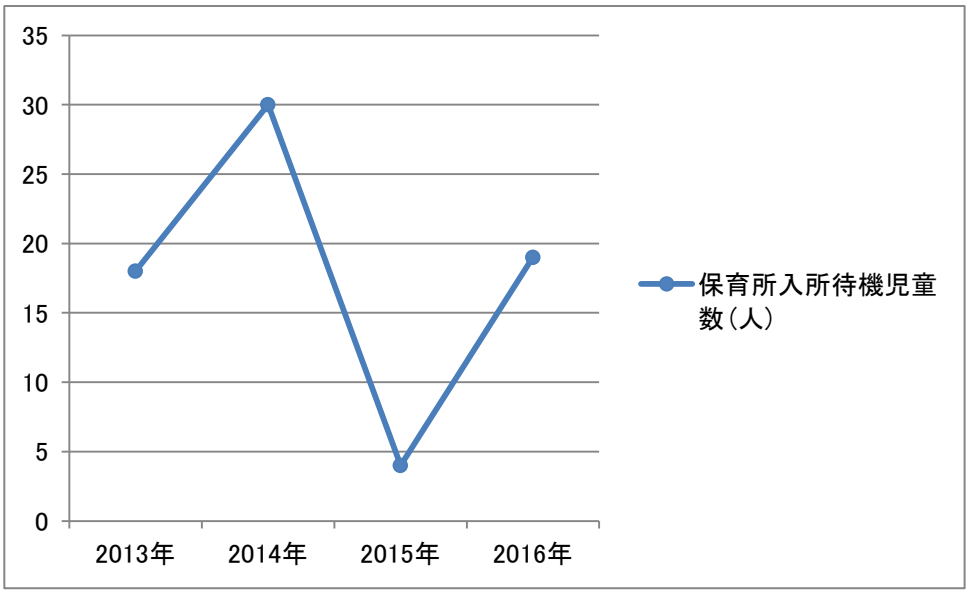
３ 「逗子市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査」における子育ての環境や支援の満足度が 25 パーセントになっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
15.2%	－	－	－

※「逗子市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査」は５年に一度実施予定

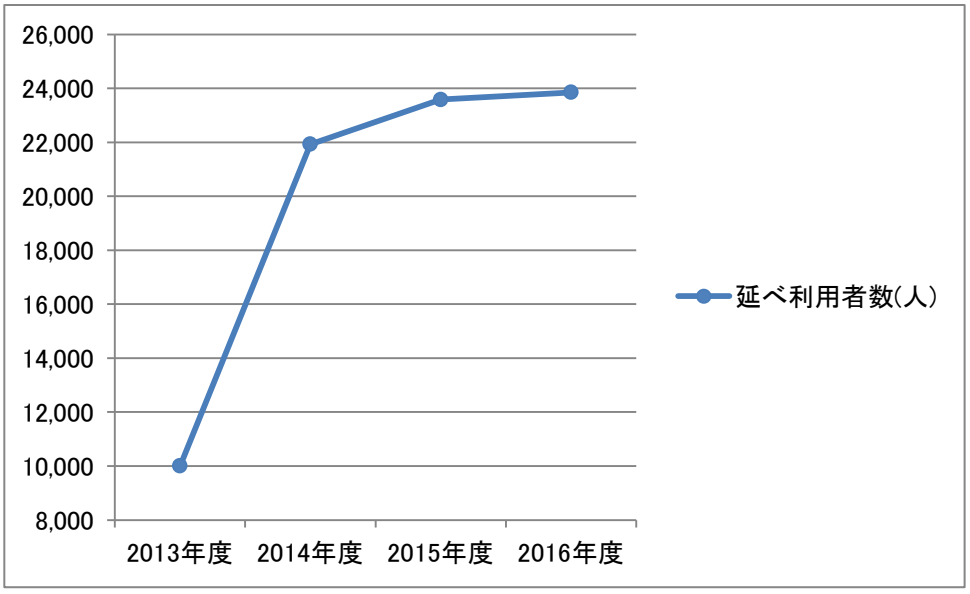
４ 教育・保育施設等を希望する人すべてが、希望する施設を利用できる。

2013年(4月1日現在)	2014年(4月1日現在)	2015年(4月1日現在)	2016年(4月1日現在)
18人	30人	4人	19人



５ ほっとスペースの年間延べ利用者数が 26,000 人になっている。

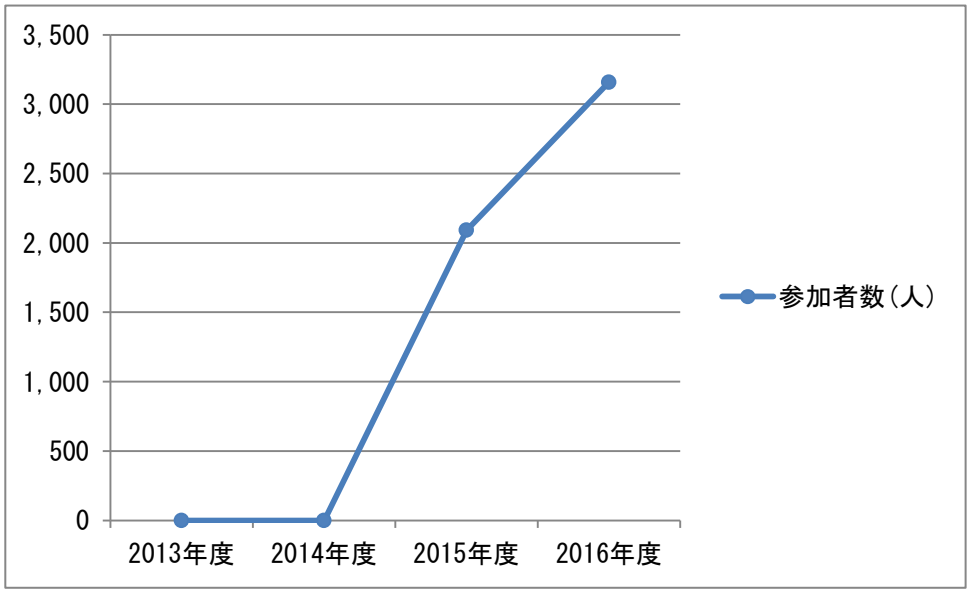
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
約 10,000 人	21,927 人	23,587 人	23,854 人



第２節１　子どもも大人も輝く生涯学習のまち

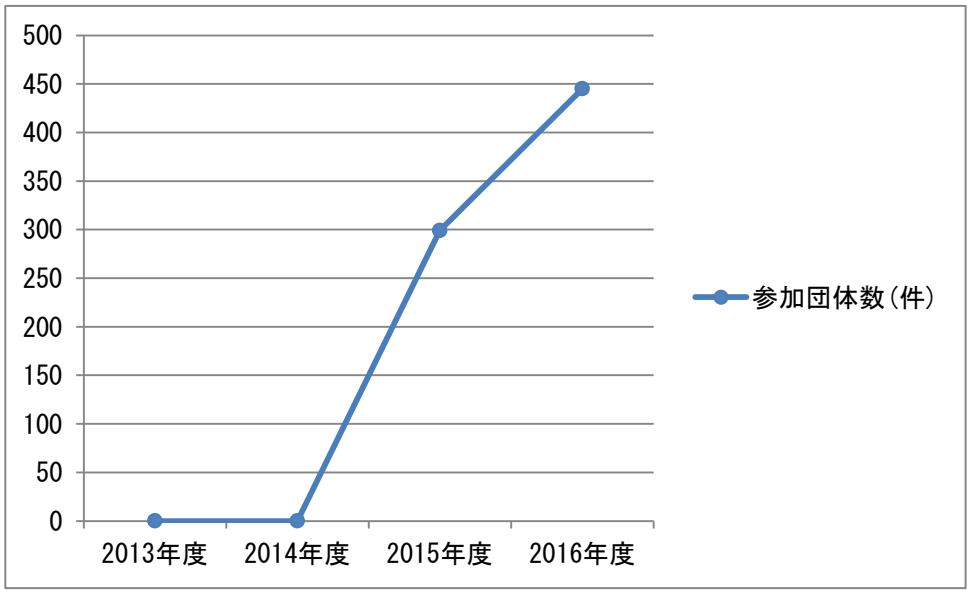
１　★子どもを対象にした「共育」の講座に参加する子どもが年間延べ 2,000 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
各所管で一部実施されているが、「共育」と位置付け、横断的集計はされていない。	各所管で一部実施されているが、「共育」と位置付け、横断的集計はされていない。	2,092 人	3,160 人



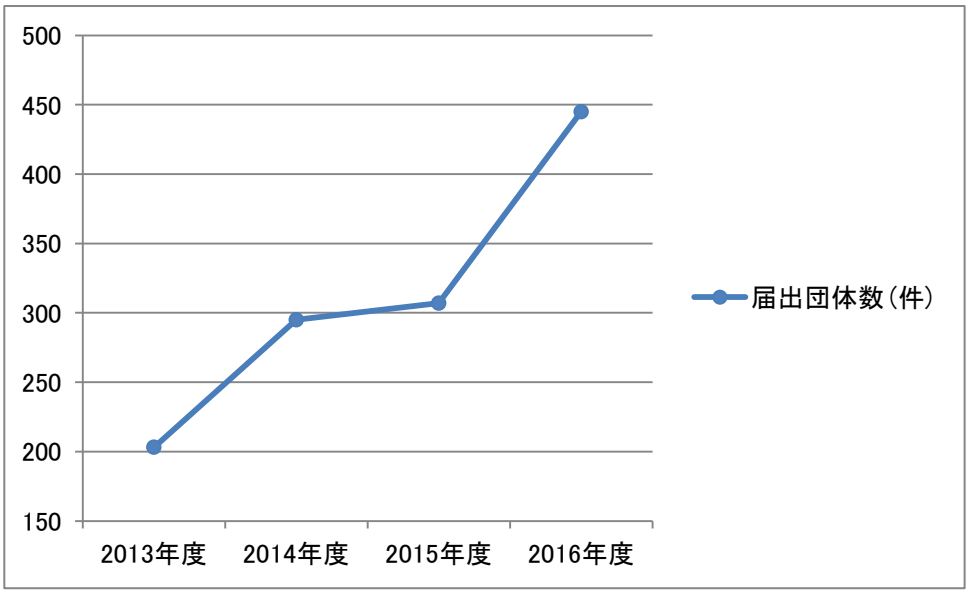
２「共育」に関するポータルサイトに参加している団体が 200 団体になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
ポータルサイトを立ち上げていない。	ポータルサイトを立ち上げていない。	299 件	445 件



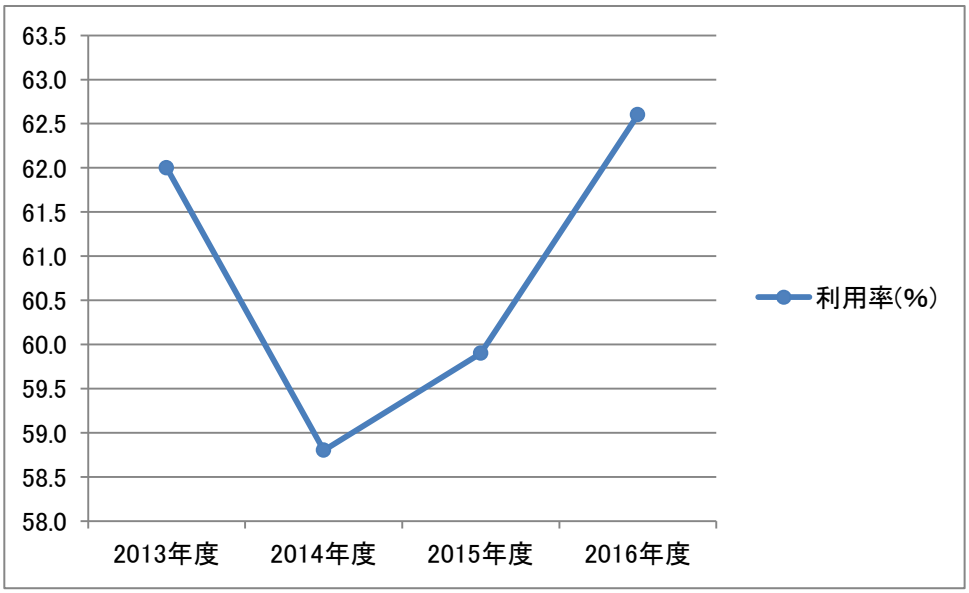
３ 生涯学習グループ・サークルの届出(登録)が 250 件になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
203 件	295 件	307 件	445 件



４ 市民交流センターの会議室の利用率が 70 パーセントになっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
62%	58.8%	59.9%	62.6%



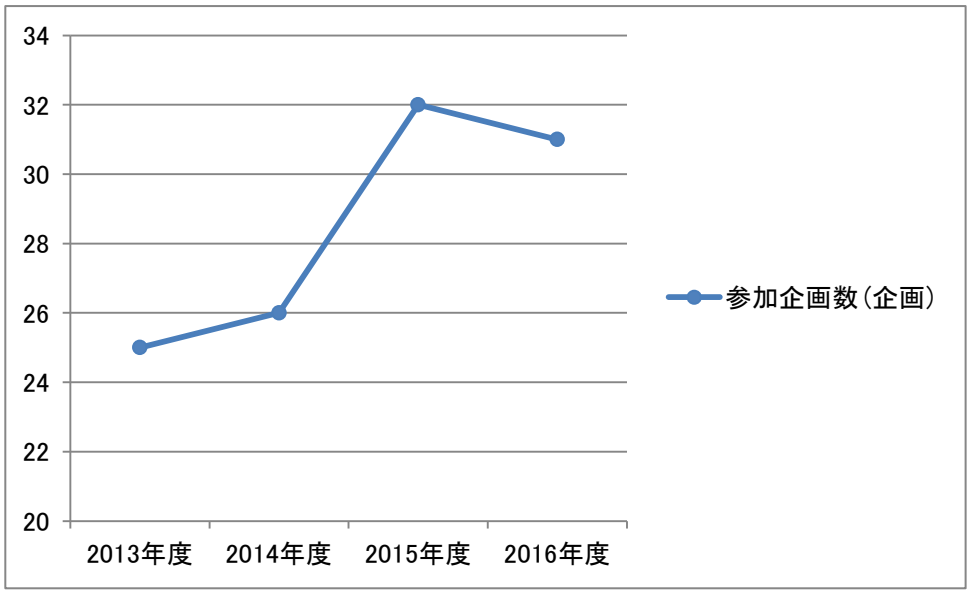
５ 生涯学習関連情報の窓口が一本化されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
窓口が一本化されてない。	窓口が一本化されてない。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。	ポータルサイトを開設し、情報を集約した。

第２節２　文化を新たに創造するまち

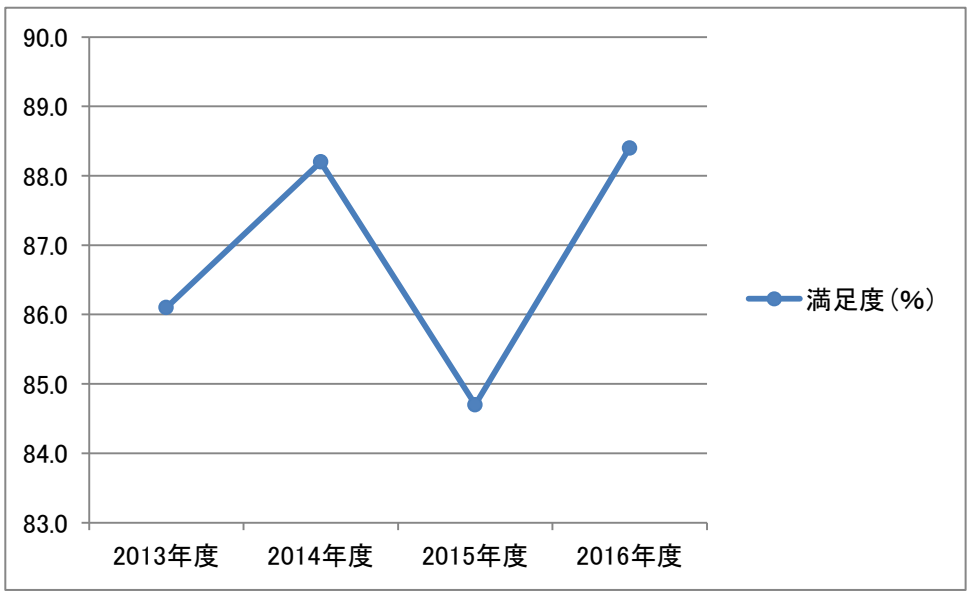
１　★逗子アートフェスティバルの参加企画数が 30 企画になっており、質の向上が図られている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
25 企画	26 企画	32 企画	31 企画



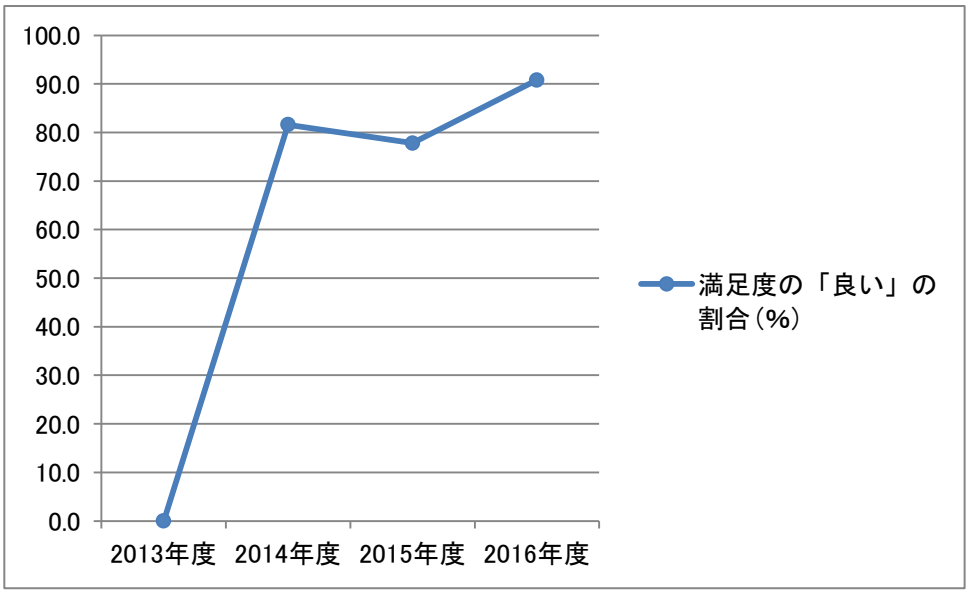
２　文化プラザホールにおいて、質の高い自主文化事業が実施され、ホール自主事業の入場者アンケートの満足度が 90 パーセントを超えている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
86.1%	88.2%	84.7%	88.4%



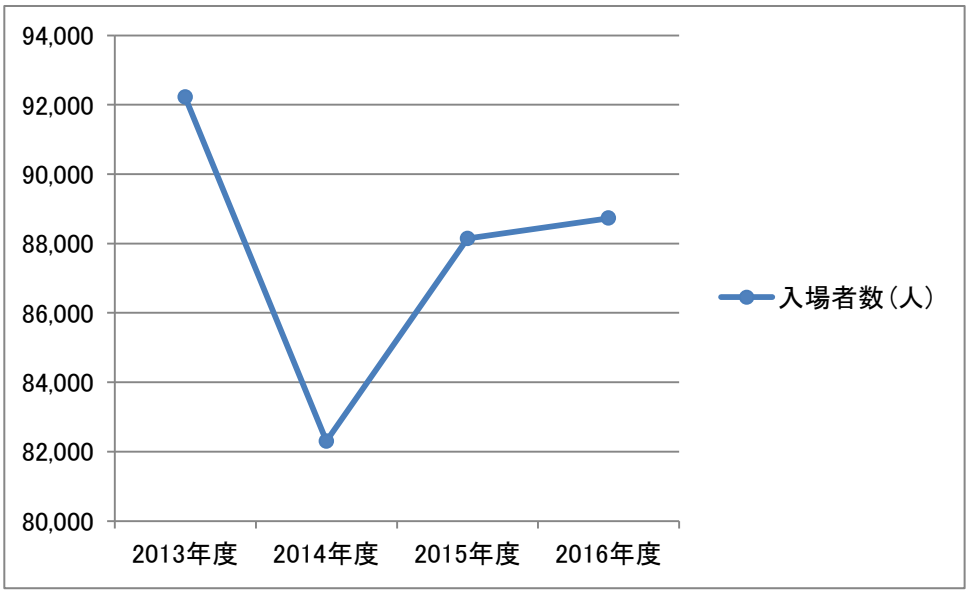
３ ホール貸館利用者アンケートによる満足度で「良い」が 75 パーセントになっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
実施していない。	81.6%	77.8%	90.8%



４ 文化プラザホールの入場者(観客)が年 10 万人以上になっている。

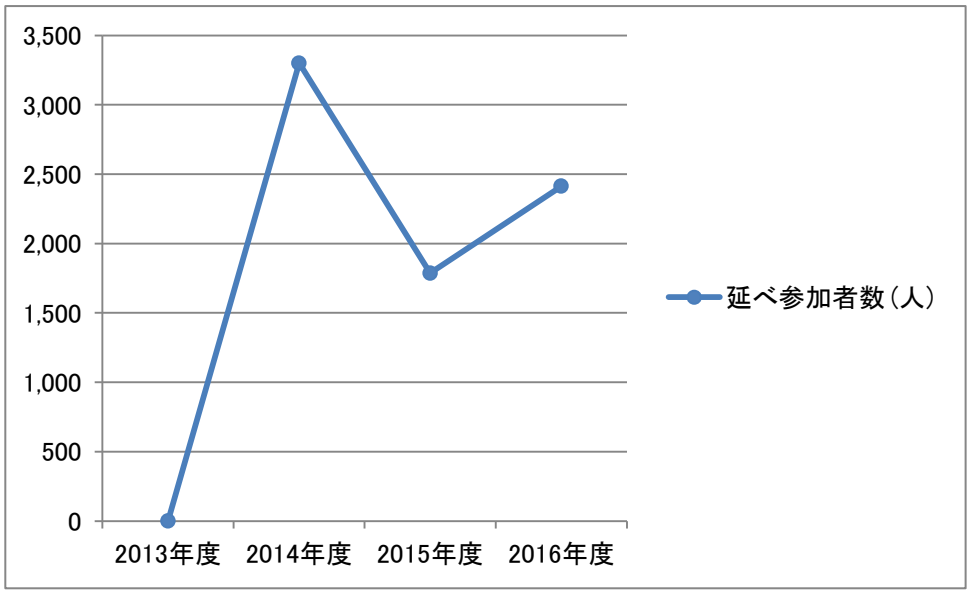
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
92,218 人	82,299 人	88,144 人	88,731 人



第２節３ スポーツを楽しむまち

１ ★逗子市スポーツの祭典への参加者が延べ 5,000 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
実施していない。	3,300 人	1,786 人	2,413 人



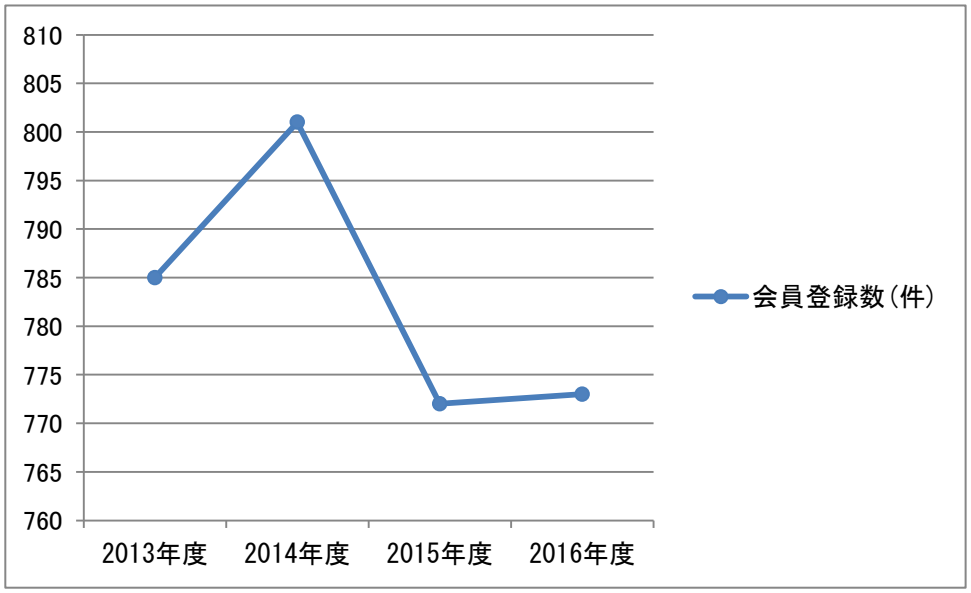
２ 「(仮称)スポーツに関する実態調査」において、成人の週１回以上のスポーツ実施率が３人に２人(66.7 パーセント)となる。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
62.8%	－	－	－

※「(仮称)スポーツに関する実態調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施

３ 総合型地域スポーツクラブ(うみかぜクラブ)の会員登録数が 1,000 件になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
785 件	801 件	772 件	773 件



４ アーチェリー場新規整備委・弓道場改修工事が完了している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
弓道場が老朽化している。	―	計画の見直しにより達成していない。	計画の見直しにより達成していない。

第２節４ 学校教育の充実したまち

１ ★「お互いを認め合える学級づくり」が、すべての学級で行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
小学校で一部の学級でモデル的に実施されている。	夏季研修会や校内研修会で教員向け研修を実施。	一部の学校で取り組まれ始めている。	小中学校でお互いを認め合う人間関係づくりへの取り組みが進んでいる。

２ ★すべての教員が「自己チェックリスト」を活用して授業と学級経営についての振り返りを行っている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
2013 年度に自己チェックリストを作成した。	教員に配付した。	17%実施	小学校で 80.4%、中学校で 60.5 パーセントの教員に「授業」のチェックリスト項目をフィードバックした。

３ 個別支援が必要なすべての児童生徒に対し、支援シートが作成され、活用されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
特別支援学級の児童生徒については作成されている。	特別支援学級に加え、適応指導教室に通室の児童・生徒についても作成されている。	前年度の状況に加え、学習支援員を配置している児童・生徒についても作成されている。	前年度の状況に加え、通常級における支援が必要な児童・生徒についても作成され始めている。

４ ★ICT(情報通信技術)環境を整え、情報機器を活用した授業づくりをすべての教員が児童生徒のニーズに応じて行っている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
小学校を中心とした教員の一部で進められている。	中学校においても活用が進んできた。	情報教育研究員会での研究内容も含め、小中学校において活用が進んできた。	小中学校において実物投影機やプロジェクター等、ICT 機器の活用が拡大している。

第２節５ 子どもも大人も共につながり成長していくまち

１ ★地域課題の解決に向けた人材育成のための講座やイベントが開催されている。

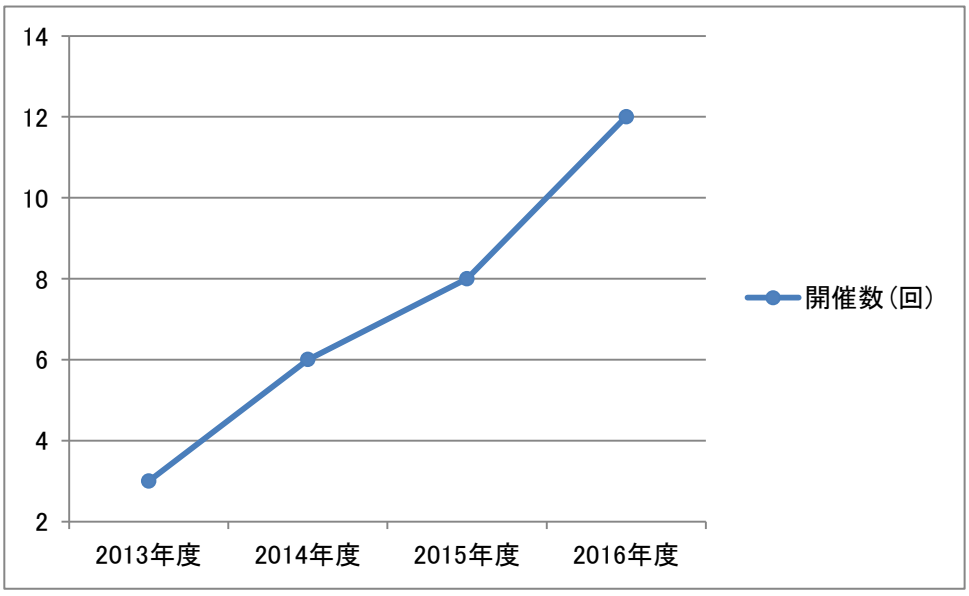
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
開催されていない。	開催されていない。	全４回の連続講座開催	全４回の連続講座開催

２ ★社会教育講座等各種講座において、アンケート調査による、受講者評価が 80 点を超えている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
80 点を超えていない講座がある。	８講座中１講座 80 点未満(76.7 点) (８講座の平均 89.2 点)	10 講座中１講座 80 点未満(73.9 点) (10 講座の平均85.9点)	12 講座全て 80 点を超えている。 （平均 91.5 点）

３ 地域で子どもを育てる環境づくりの構築に向けた家庭教育講座が５回開催されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
３回	６回	８回	１２回 （主催３回、教育研究所と共催７回、生活安全課と共催２回）



４ 市指定文化財の数が増加している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
19 件	19 件	19 件	19 件

５ 名越切通、長柄桜山古墳群第１号墳の整備が完了し、公開活用されている。

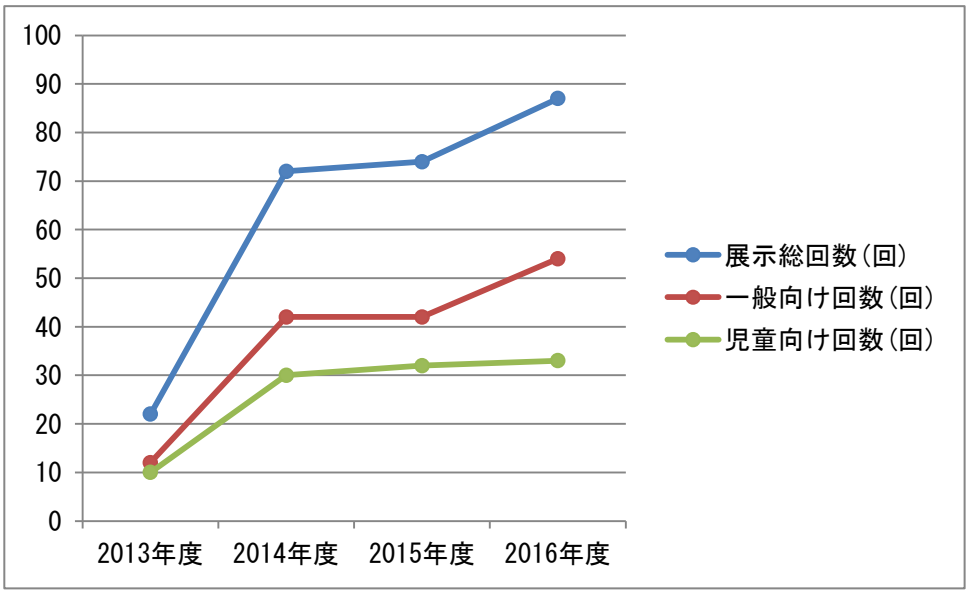
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
整備中	整備中	整備中	整備中

６ 文化財収蔵庫が設置され、遺物が適正に保管されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。	収蔵施設が不足している。

７ 図書館において、様々なテーマ設定により年間 30 回以上の図書の展示を行い、読書の推進を図る。

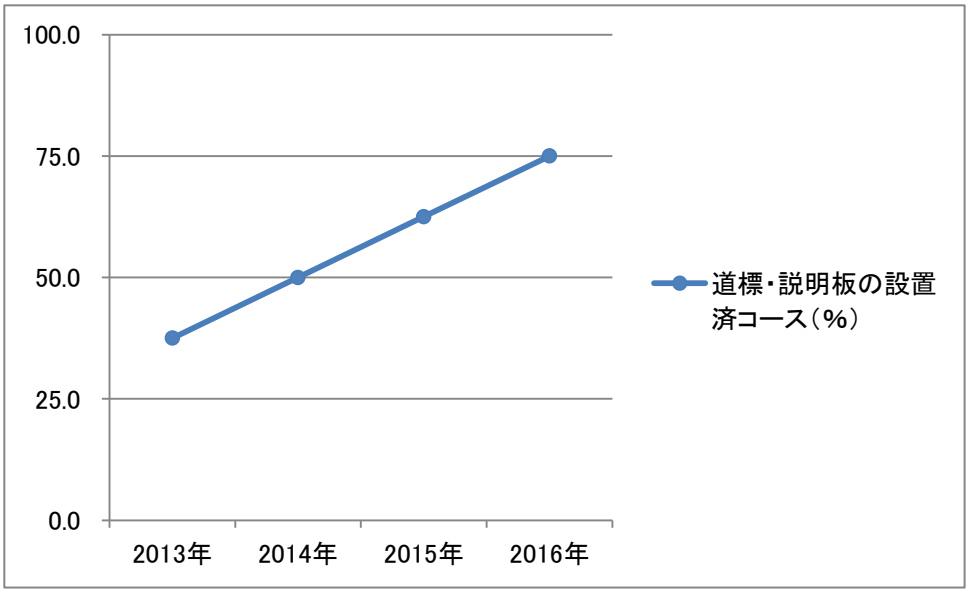
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
22 回 (一般向け 12 回、児童向け 10 回)	72 回 (一般向け 42 回、児童向け 30 回)	74 回 (一般向け 42 回、児童向け 32 回)	87 回 (一般向け 54 回、児童向け 33 回)



第３節１　自然を大切にするまち

１ ★「自然の回廊プロジェクト」において、道標や説明板の設置済みコースが 100 パーセントとなっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
37.5%	50%	62.5%	75%



２ ★特別緑地保全地区を全３地区指定している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
指定されていない。	１地区指定済	１地区指定済	１地区指定済

３ ★池子の森自然公園の整備が完了している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
基本計画を策定した。	計画どおり進捗	計画どおり進捗	計画どおり進捗

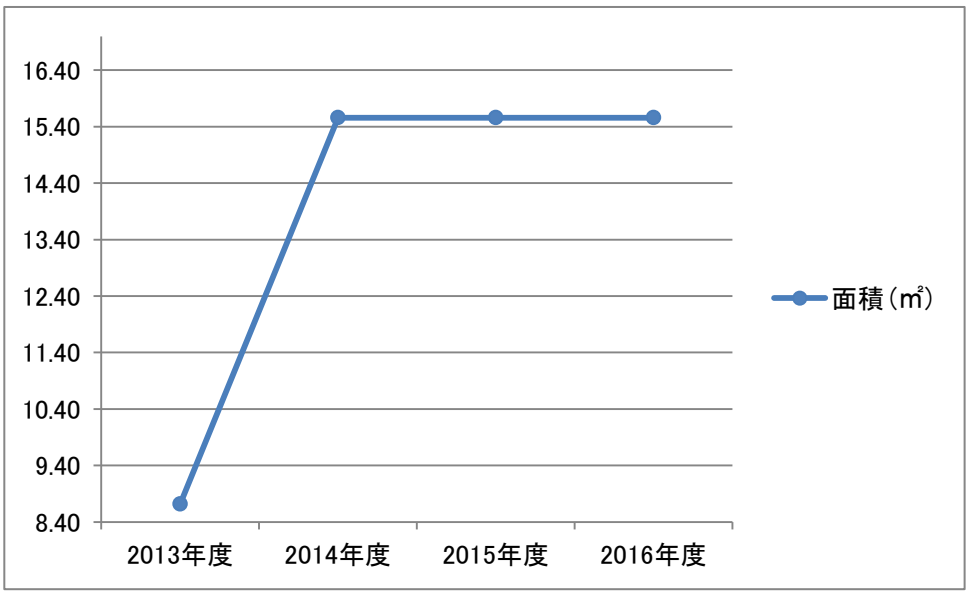
４ 市全域の緑被率約 60 パーセントが維持されている。

2004 年	2014 年	2015 年	2016 年
58.2%	－	－	63.1%

※緑の基本計画策定（2005 年）に調査、2014 年、2015 年は調査未実施

５ 市民一人当たり都市公園面積が 10 平方メートルになる。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
8.72 ㎡	15.56 ㎡	15.56 ㎡	15.56 ㎡

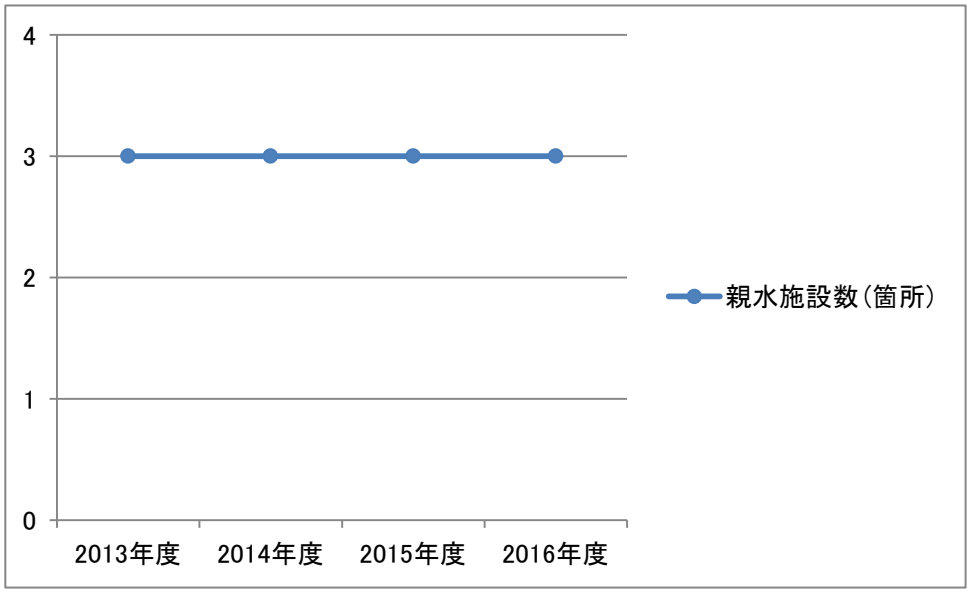


６ 名越切通周辺の歴史的風土保存区域内の枢要な部分が、歴史的風土特別保存地区に指定されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。	指定されていない。

７ 河川の親水施設が４箇所となっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
３箇所	３箇所	３箇所	３箇所



第３節２ 廃棄物による環境負荷の少ないまち

１ ★家庭用生ごみ処理容器の普及と生ごみ一括処理施設の稼働により、生ごみ(資源化できない一部の生ごみを除く)が資源化されている。

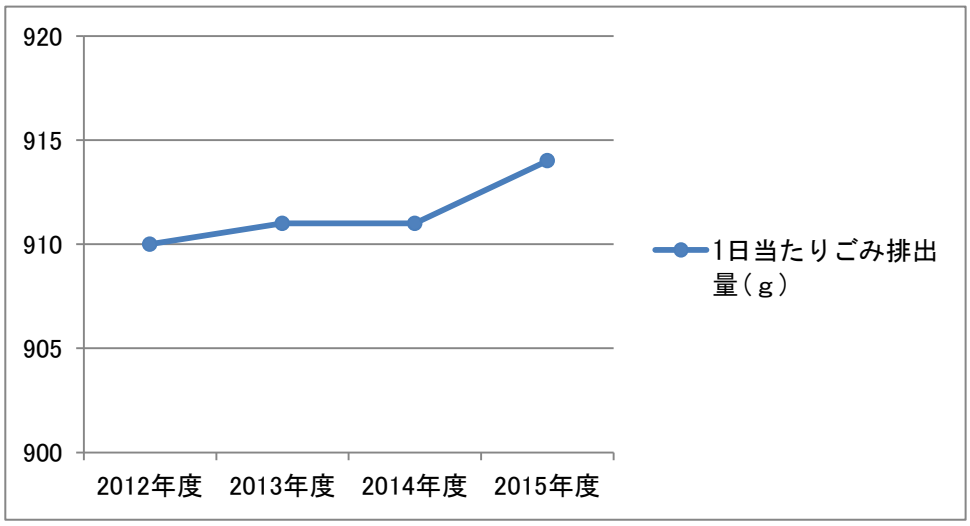
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中

２ ★一般廃棄物処理施設再整備が完了している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
再整備の方向性を検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中	施設整備に向けて検討中

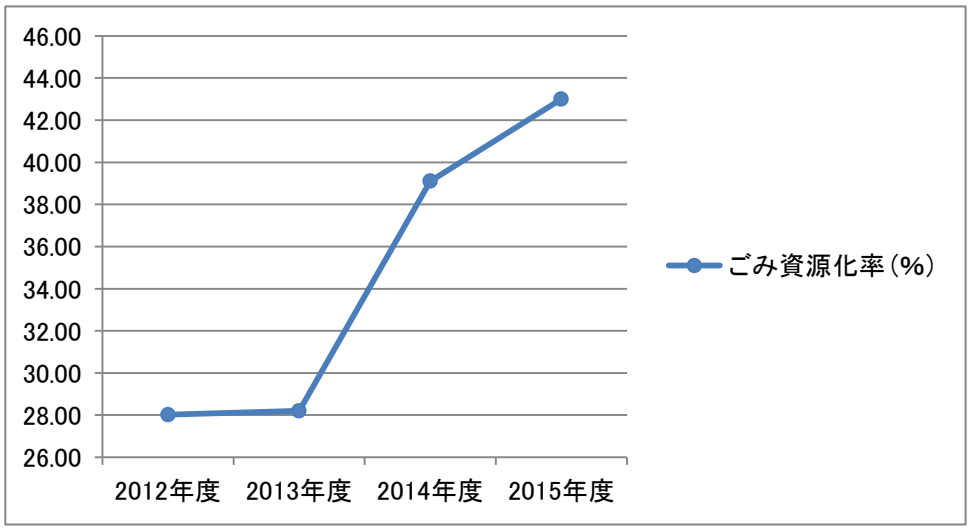
３ 市民一人あたりのごみ排出量が１日あたり 700 グラム以下になっている。

2012 年度	2013年度	2014年度	2015 年度
910ｇ	911ｇ	911ｇ	914ｇ



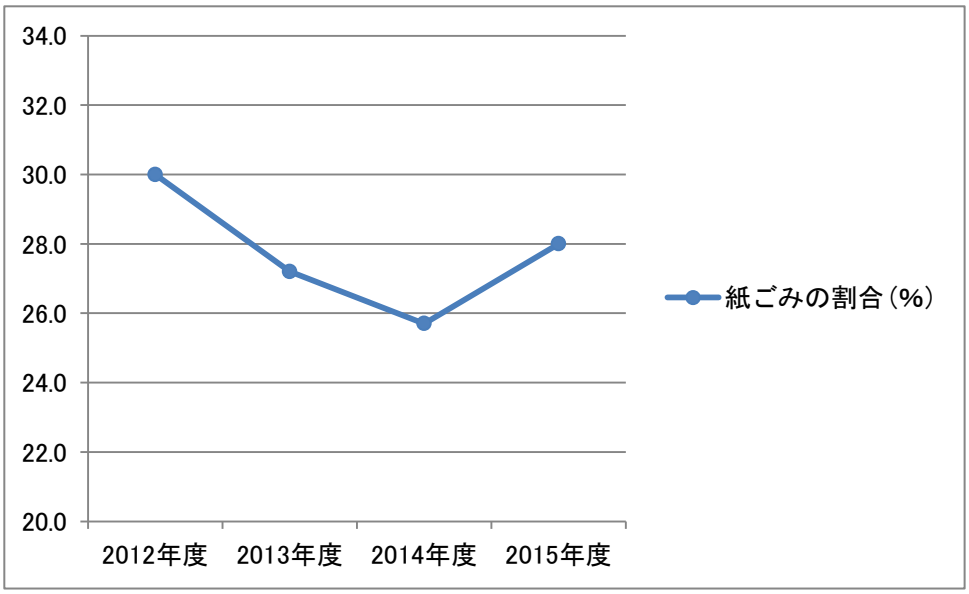
４ ごみの資源化率が 60 パーセント以上になっている。

2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
28.02%	28.2%	39.1%	43.0%



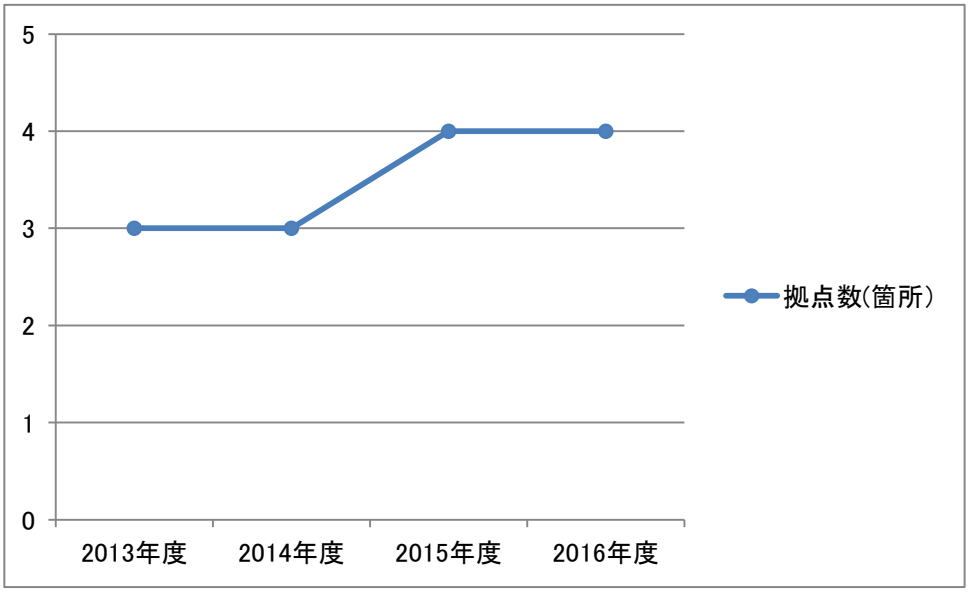
５ 燃やすごみに混入される紙ごみの割合が 10 パーセント以下になっている。

2012 年度	2013年度	2014年度	2015 年度
約 30%	27.2%	25.7%	28.0%



６ 地域の拠点５箇所すべてで、まだ使用できる不用品(資源物)の回収等が行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
３箇所 (逗子・沼間・小坪)	３箇所 (逗子・沼間・小坪)	４箇所 (逗子・沼間・久木・小坪)	４箇所 (逗子・沼間・久木・小坪)



第３節３ 温室効果ガス排出の少ないまち

１ ★「第二次逗子市環境基本計画」に基づく新たなスマートエネルギー設備等導入支援の補助金制度の利用件数が目標を達成している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
計画を策定していない。	制度設計の検討中	制度設計の検討中	制度設計の検討中

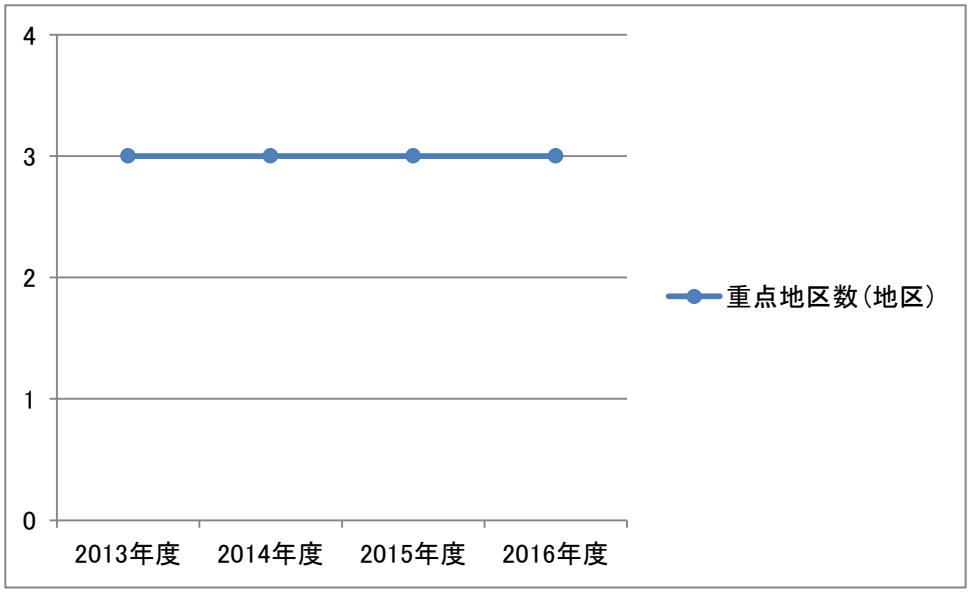
２ 2022(平成 34)年度を目標年度とする第二次逗子市地球温暖化対策実行計画の目標値を達成する。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
第一次実行計画に基づいて取組み中	第一次実行計画に基づいて取組み中	第二次実行計画に基づいて取組み中	第二次実行計画に基づいて取組み中

第３節４ 暮らしと景観に配慮したまち

１ ★景観形成重点地区４地区目のガイドラインを作成し、運用を開始している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
重点地区３地区指定済	重点地区３地区指定済	重点地区３地区指定済	重点地区３地区指定済

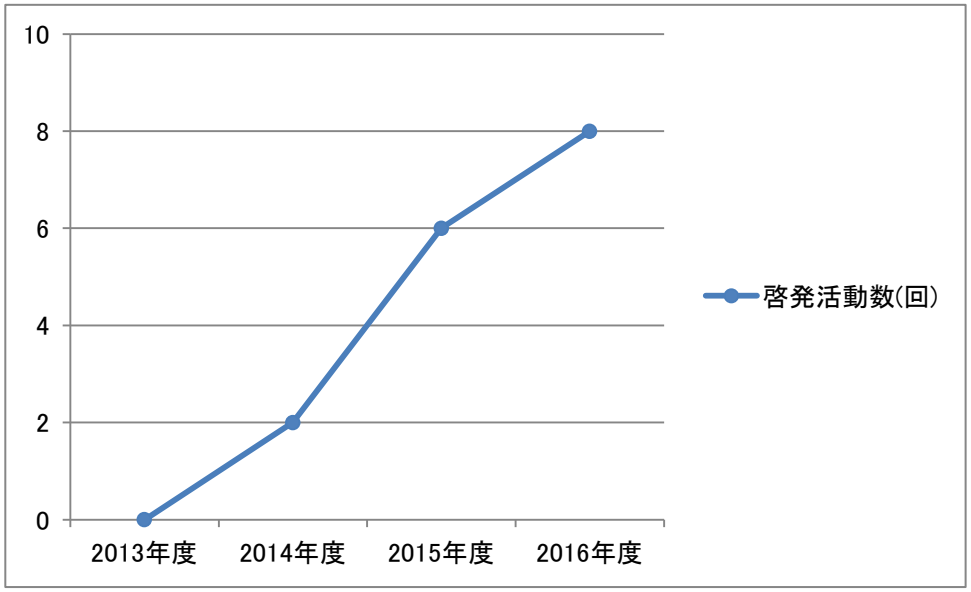


２ ★景観資産の登録を行い、今後の景観行政の指標となるものを示す。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
景観資産未登録	景観資産登録 17 箇所登録済	景観資産登録 17 箇所登録済	景観資産登録 17 箇所登録済

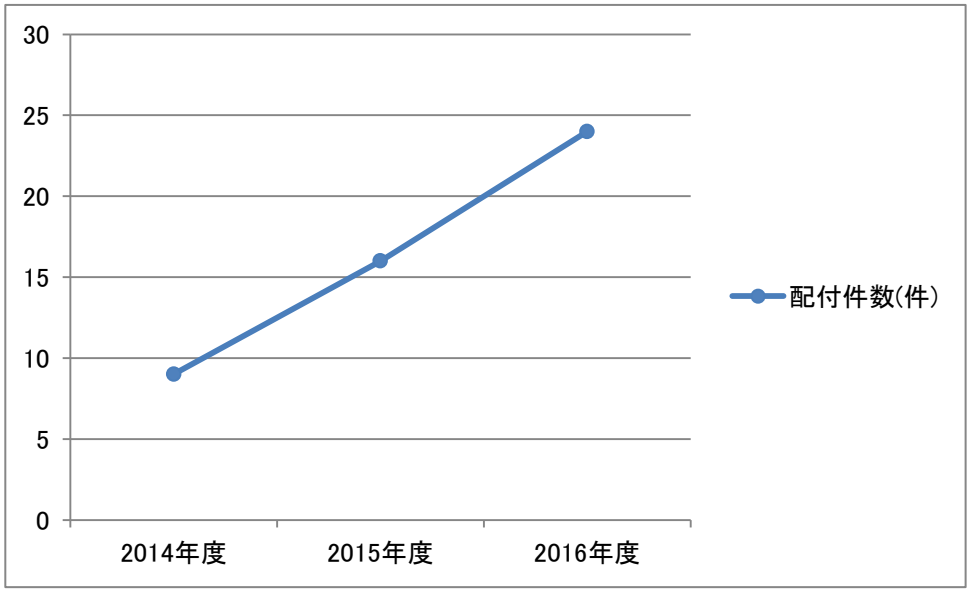
３ ★景観デザインコードを活用した啓発活動を累計 10 回以上行う。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
景観デザインコード作成済	2回	6回	8回



４ シンボルツリー苗木の配付件数が 60 件になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
2014 年度事業開始	９件	16 件	24 件



第４節１ 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち

１ ★中期実施計画に向けた土地利用方針が決定されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
前期実施計画策定中	都市計画基礎調査を５年おきに実施	平成 28 年度基礎調査実施のための基本図修正を実施	都市計画基礎調査を実施

２ ★地区まちづくり計画が３箇所で策定されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。	策定されていない。

３ ★都市計画（用途地域）による、敷地面積の最低限度の基準を導入し、運用する。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
導入していない。	導入していない。	導入していない。	導入していない。

４ ★まちづくり条例の改正による新たなまちづくりの方向性が提示されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
2014 年 4 月一部改正(3 年毎に見直し)	2014 年 4 月一部改正済	2014 年 4 月一部改正済	2016 年 12 月一部改正

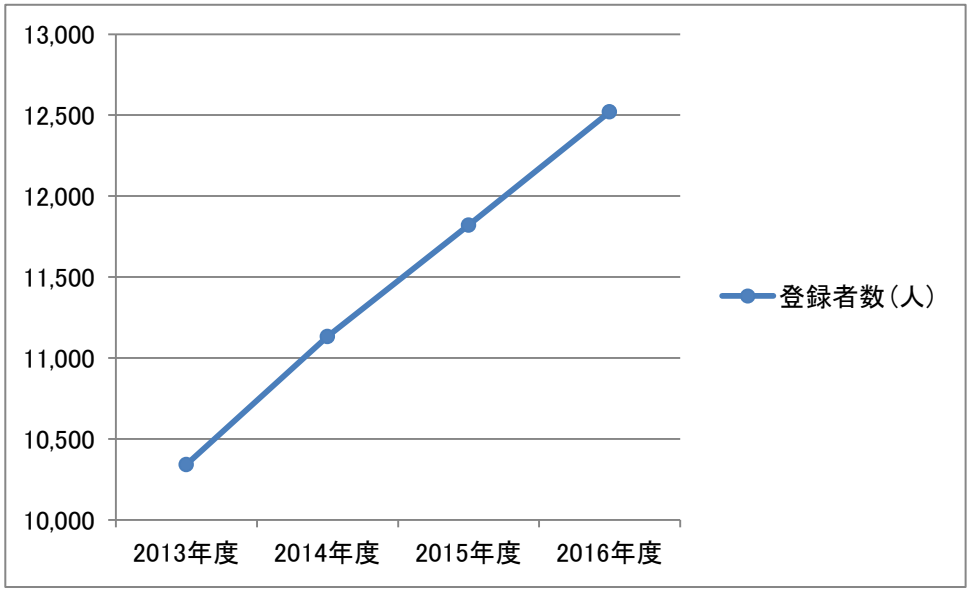
第４節２ 災害に強く、犯罪のない安全なまち

１ ★避難行動要支援者の個別支援プランが 30 パーセント作成されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プランの作成の支援に着手していない。	個別支援プラン作成の構築にあたり地域と情報共有を行った。	個別支援プランの作成支援は未着手。対象者の名簿を作成し、同意確認を実施した。

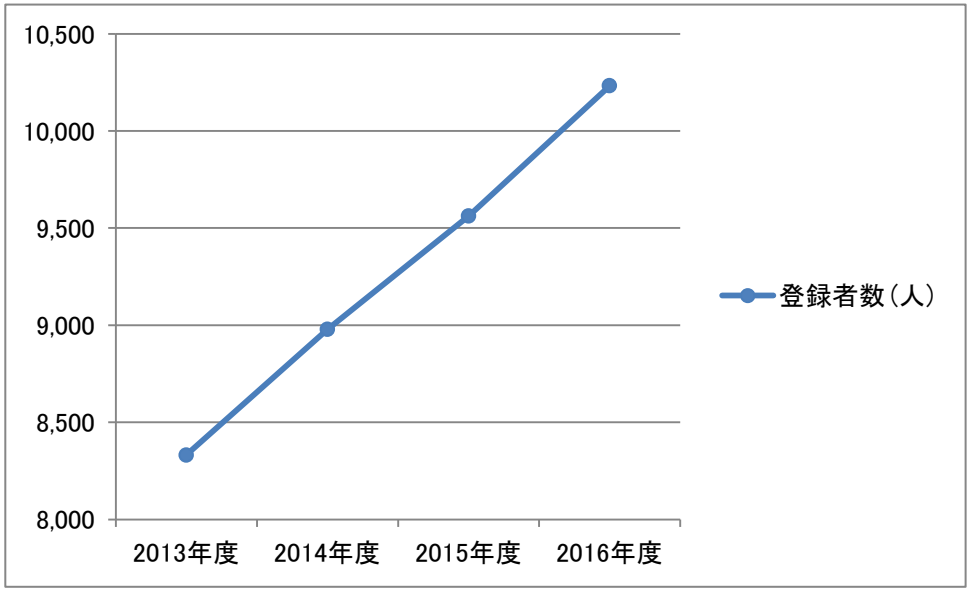
２ 地域安心安全情報共有システムの登録者数が 14,000 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
10,341 人	11,132 人	11,820 人	12,520 人



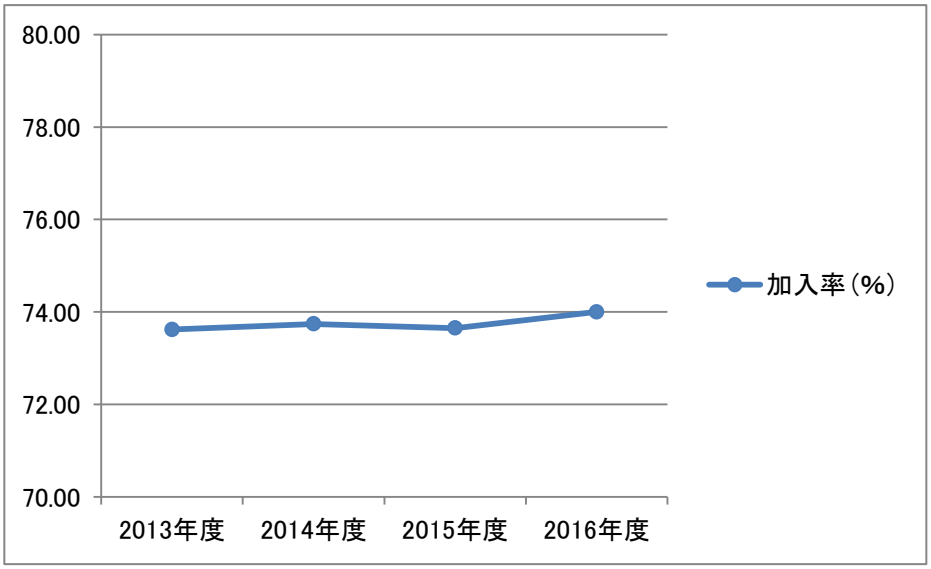
３ ★地域安心安全情報共有システムの防犯情報の登録者数が 10,000 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
8,332 人	8,979 人	9,562 人	10,233 人



４ 自主防災組織の加入率が 80 パーセント以上になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
73.62%	73.74%	73.65%	74.00%



５ (仮称)安全安心アクションプランが策定されている。

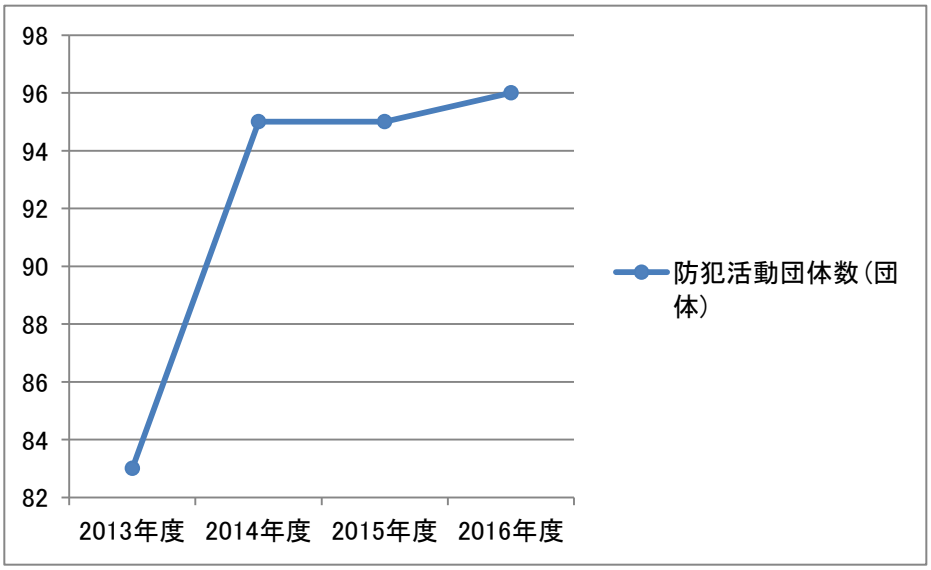
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手した。	安心安全に関する懇話会を設立した。

６ 田越川準用河川未整備区間の改修工事に着手している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
田越川準用河川未整備区間約 140m	田越川準用河川未整備区間約 140m	田越川準用河川未整備区間約 140m	田越川準用河川未整備区間約 140m

７ 防犯活動団体の数が 95 団体になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
83 団体	95 団体	95 団体	96 団体



第４節３ 歩行者と自転車を優先するまち

１★限られた道路空間における、歩行者・自転車・自動車の共存の方策が実施されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
アクションプランを策定した。	アクションプランの周知、啓発活動に取り組んだ。	カーフリーデー導入は、2016 年度からとし目標達成に向けた準備を実施した。	雨天により中止となったものの、カーフリデーを実施できる状態まで準備を進めた。

２ 「まちづくりに関する市民意識調査」による居住地域の現在のイメージで、「歩行者や車イスの人が安全に出歩けるまち」が 10 パーセント以上になっている。

2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016年度
4.2%	－	－	－

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施

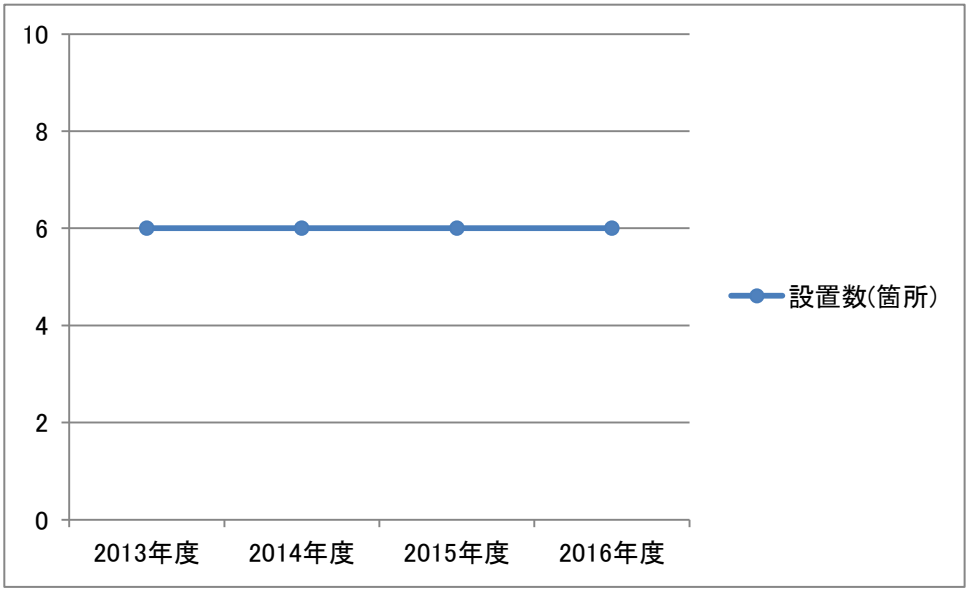
３ 「まちづくりに関する市民意識調査」による居住地域の現在のイメージで、「自転車を利用しやすいまち」が 10 パーセント以上になっている。

2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016年度
6.6%	－	－	－

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施

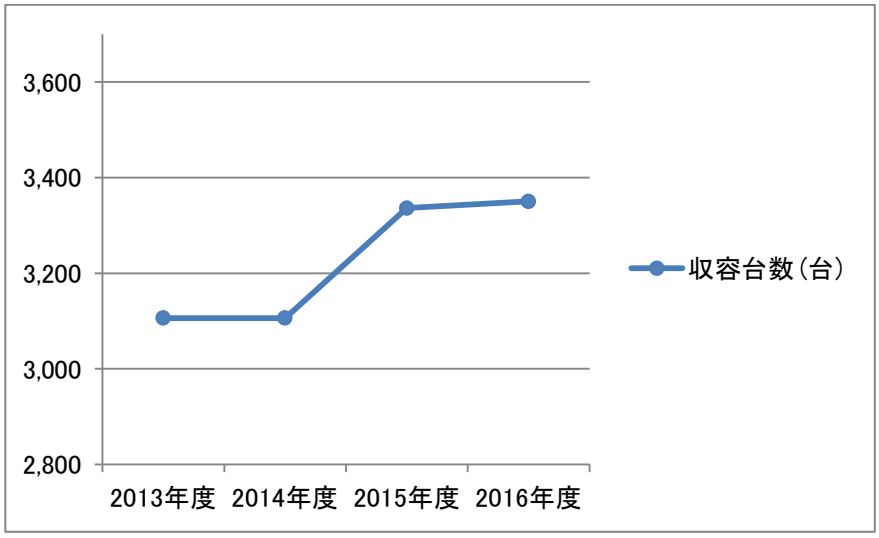
４ 自転車の走行位置を示す自転車誘導マークの主要道路への設置が 30 箇所になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
６箇所	６箇所	６箇所	６箇所



５ 自転車・オートバイ駐輪場の収容台数が 3,700 台になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
3,106 台	3,106 台	3,336 台	3,350 台



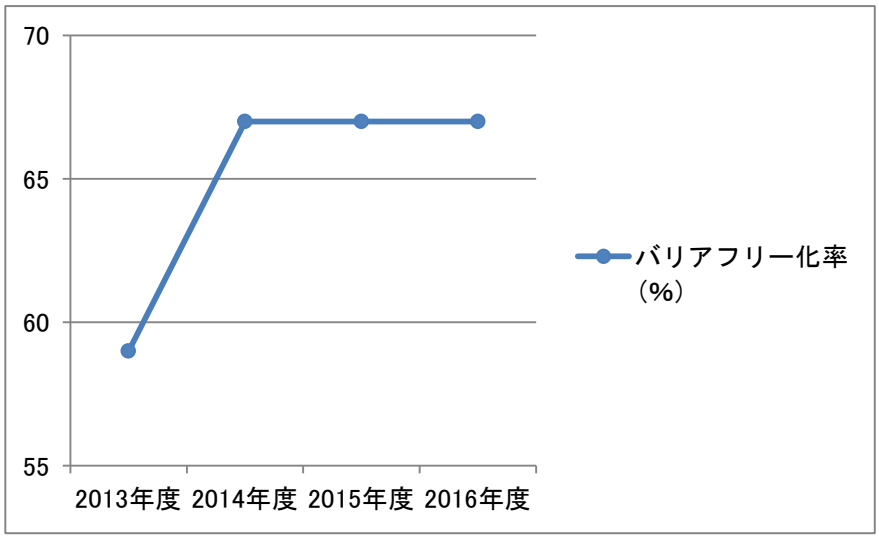
第４節４ 都市機能の整った快適なまち

１ ★(仮称)JR 東逗子駅前用地活用計画のもと、施設整備を行う。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
計画の策定に着手していない。	計画の策定に着手していない。	用地の活用に向けて、有力な事業実施手法である PPP/PFI について職員間で情報共有を図った。	事業スケジュールを見直した。

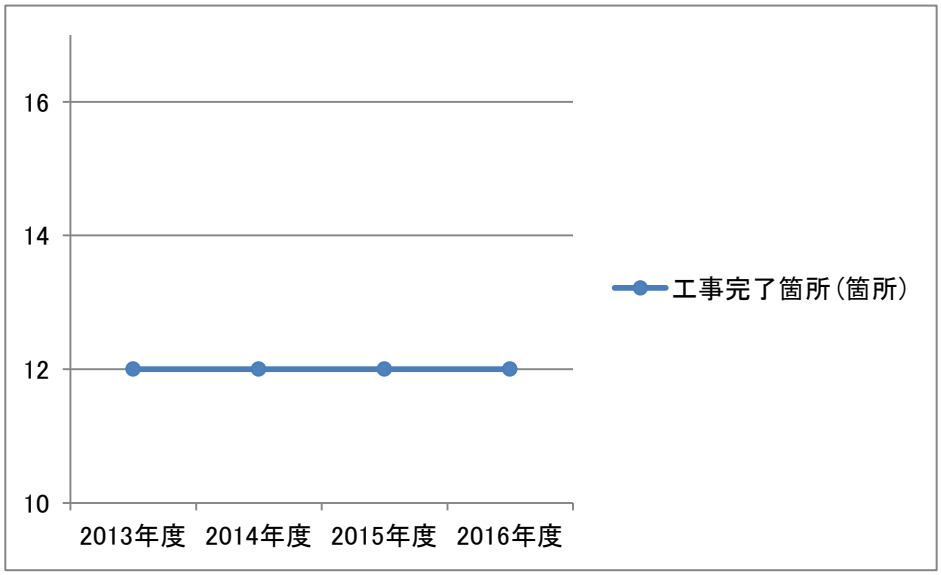
２ ★市営住宅のバリアフリー化率が 100 パーセントになっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
59%	67%	67%	67%



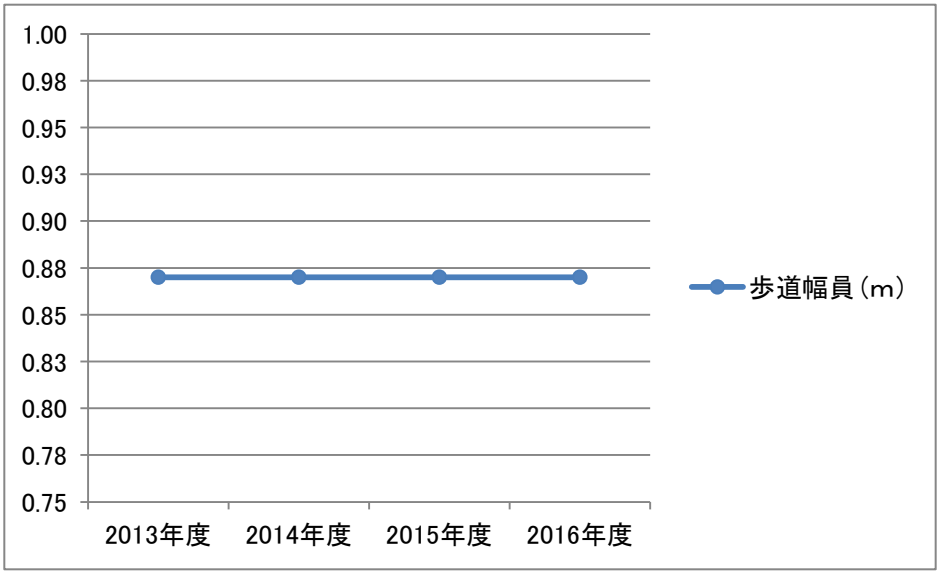
３ 2003(平成 15)年に策定した逗子市交通バリアフリー基本構想に基づき、対策の必要な市道の 17 箇所すべての工事が完了している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
12 箇所	12 箇所	12 箇所	12 箇所



４ 神武寺トンネルの歩道幅員を２メートルに拡幅する。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
0.87m	0.87m	0.87m	0.87m （工事施工中）



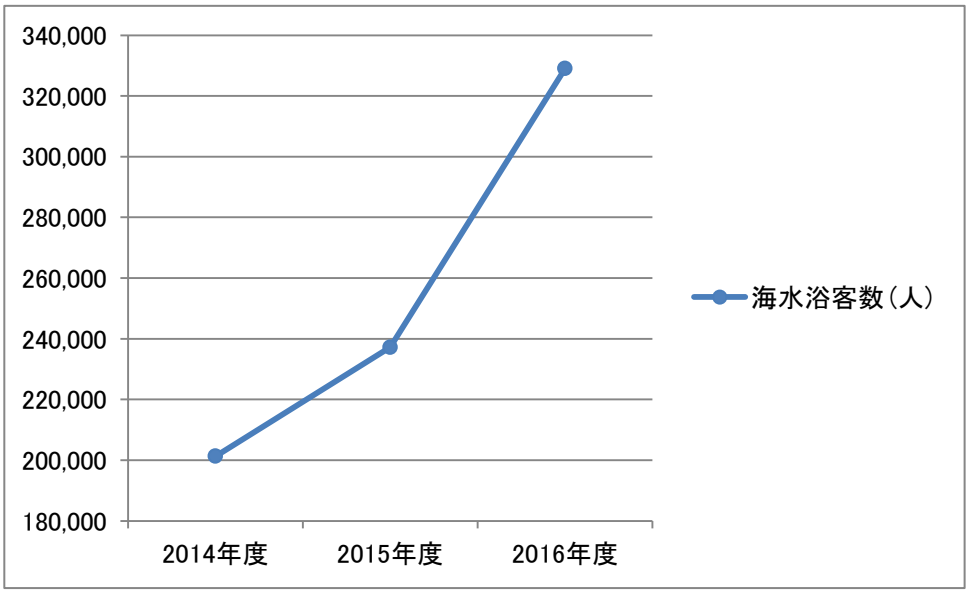
５ 管渠及び処理場・ポンプ場施設において、長寿命化対策工事及び地震津波対策工事を実施している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
処理場・ポンプ場施設の一部において対策工事を実施中	浄水管理センター管理棟の耐震補強工事完了	浄水管理センター流入渠・放流渠・バイパス管の耐震補強実施設計を行った。	マンホールトイレシステム設置工事及び処理場内ＥＸＰ・Ｊ耐震補強工事の完了。処理場内の一部おいて長寿命化及び耐震補強工事を実施中

第４節５ 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち

１ ★逗子海岸が安全で快適なファミリービーチとして維持されており、海水浴客数が 40 万人を超えている。

2014 年度	2015 年度	2016 年度
201,300 人	237,200 人	329,000 人



２ ★(仮称)商工業振興計画が完成し、推進されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた情報収集等を始めている。	策定に向けた情報収集等を行っている。

３ ★(仮称)小坪海浜地域活性化計画が完成している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。	策定に向けた調査・研究に着手していない。

４「まちづくりに関する市民意識調査」における年に数回以上逗子海岸を利用する人の割合が、70 パーセント以上になっている。

2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
63.3%	―	―	―

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施

第５節１ 市民自治のまち

１ ★(仮称)自治基本条例が施行されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
検討に着手していない。	検討に着手していない。	(仮称)自治基本条例の調査研究の一環として、職員向けの行政課題研修を実施した。	市民参加のワークショップ（2016～2017 年度にかけて全 16 回開催予定）を全８回開催した。 学識等による検討会（2016～2017 年度にかけて全５回開催予定）を２回開催した。

２ ★５小学校区すべての住民自治協議会において、地域の課題解決の取り組みが行われている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
住民自治協議会が設立されていない。	１小学校区で設立	２小学校区で設立	３小学校区で設立

３ ★(仮称)市民協働推進条例が施行されている。

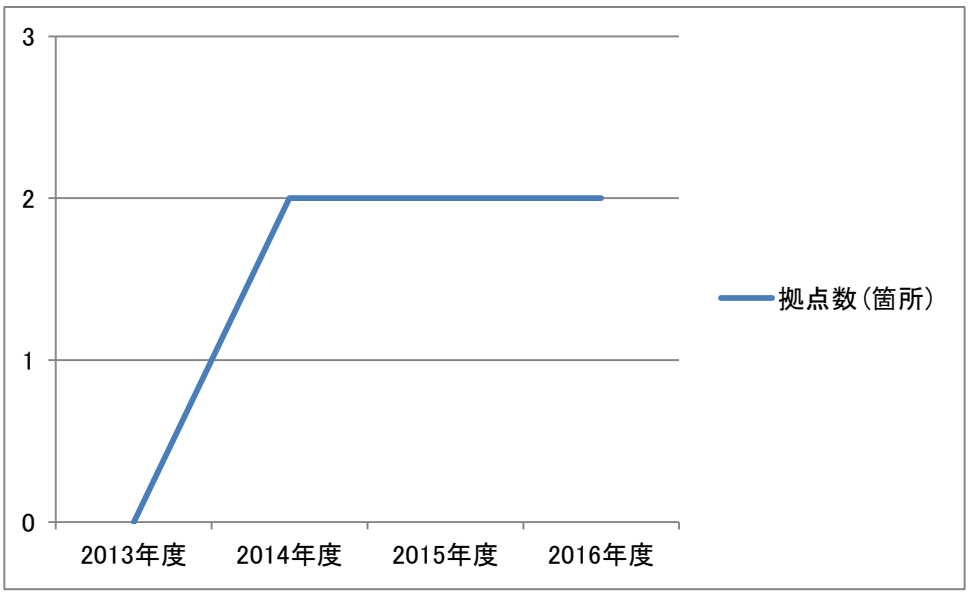
2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
検討に着手していない。	検討に着手していない。	検討に着手	条例制定に向けて検討中

４ 市民が行政計画の達成状況等を検証する仕組み等、まちづくりの主体となって参加できる仕組みが機能している。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
仕組みを検討中	仕組みを検討	個別計画・基幹計画等の策定推進に関わっている市民による「まちづくりネットワーク会議」を２回(春・秋)開催した。	住民自治協議会のメンバーがあらたに参加し、「まちづくりネットワーク会議」を２回（春・秋）に開催した。

５ 「ふれあい活動」の拠点が民設民営を含め 20 箇所になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
０箇所	２箇所	２箇所	２箇所



第５節２ 誰もが尊重され、自由で平等なまち

１ ★(仮称)ずし男女共同参画推進条例が制定されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
検討に着手していない。	後期基本計画の中で条例制定を目標として掲載	新たに策定したプランに条例制定を明記	情報収集に着手

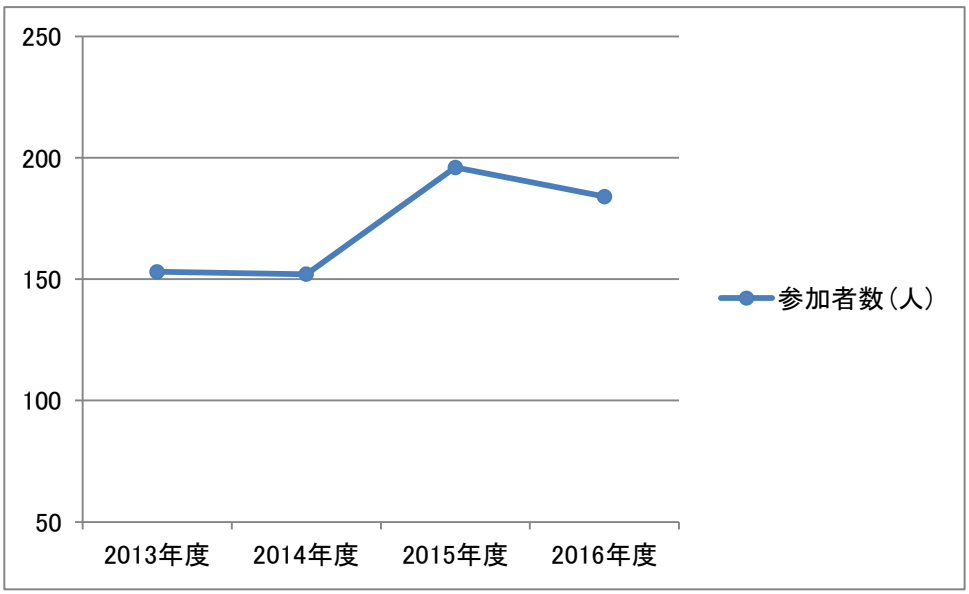
２ 市が実施する「男女共同参画社会に関する市民意識調査・実態調査」において「男女の地位が平等になっている」と感じる人の割合が 25 パーセントを超えている。

2009 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
21.8%	22.2%	－	－

※「男女共同参画社会に関する市民意識調査・実態調査」は５年毎の調査

３ 人権（子どもの人権も含む）に関する講演会等への参加者が年 200 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
153 人	152 人	196 人	184 人



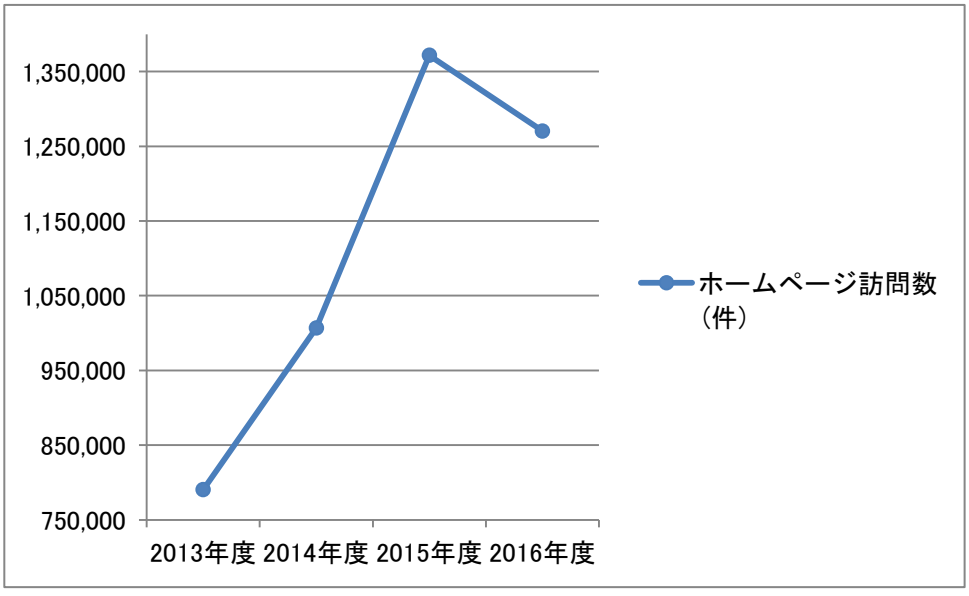
第５節３ 情報化で、よりよく暮らせるまち

１ ★(仮称)情報化推進計画が完成し、推進されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していない。	策定に着手していない。

２ 逗子市ホームページへの訪問数が年 100 万件になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
790,331 件	1,006,845 件	1,371,737 件	1,270,352 件



３ 「まちづくりに関する市民意識調査」における「市の情報の入手方法」として「逗子市ホームページ」の割合が 50 パーセントになっている。

2011 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
23.3%	―	―	―

※「まちづくりに関する市民意識調査」は 2014 年度、2015 年度、2016 年度未実施

４ オープンデータの公開が開始され、二次利用が可能な形式で提供されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
公開をしていない。	２種類	６種類	６種類

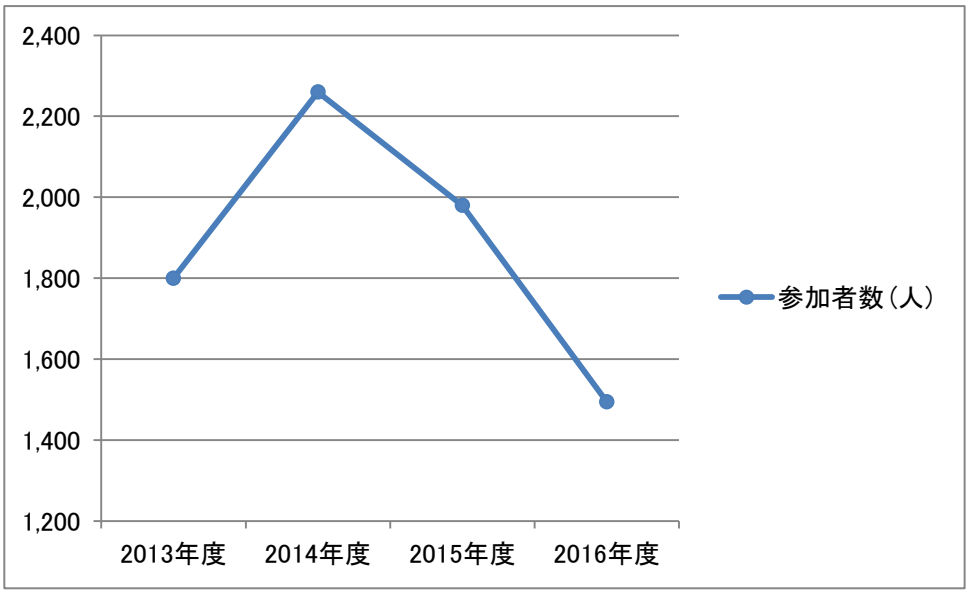
第５節４ 世界とつながり、平和に貢献するまち

１ ★池子米軍家族住宅内小学校との交流が年２回以上実施されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。	実施されていない。

２ ★市が主催または共催の非核平和に関するイベントへの参加者数が年 3,000 人になっている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
1,800 人	2,260 人	1,980 人	1,494 人



３ 国際交流イベントなど外国籍市民との交流の場が年２回以上実施されている。

2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
実施されていない。	実施されていない。	２回実施 （主催１回、共催１回）	４回実施（全て共催）